

SIONYX

Auroraシリーズカメラ

ユーザーマニュアル



SiOnyx

SIONYX, LLC

Cummings Center

Beverly, MA 01915

U.S.A.

(978) 922-0684

support@SIONYX.com

フェイスブックでフォローして

@SiOnyxNightVision



SiOnyx, LLC

AURORA

4.2/3.6DC $\approx$ 0.72/0.84A



D180006007

MADE IN INDONESIA

Pat.: sionyx.com/patents

Contains FCC ID:2AOI7-CDV18A

Contains IC:23556-CDV18A



目次

第1章はじめに

- 1.1 ボックスの開梱
- 1.2 バッテリーの充電
 - 1.2.1 バッテリーの取り外し
 - 1.2.2 バッテリー充電メーターの表示
- 1.3 カメラのモードと設定の表示
 - 1.3.1 ボタンの概要
 - 1.3.2 設定ダイヤル
 - 1.3.3 ビューファインダー
 - 1.3.4 シーンリング
 - 1.3.5 フォーカシングリング
- 1.4 マイクロSDカードの挿入
- 1.5 日付と時刻の設定
- 1.6 日付と時刻の設定

第2章写真とビデオ 17

- 2.1 写真を撮ってビデオを撮る
 - 2.1.1 写真を撮る
 - 2.1.2 ビデオの撮影
 - 2.1.3 フォーカスの調整
 - 2.1.4 ズームインとズームアウト
 - 2.1.5 露出補正の設定
 - 2.1.6 シーンリングの使用
- 2.2 写真とビデオの表示と削除
 - 2.2.1 写真とビデオの表示とズームイン
 - 2.2.2 写真とビデオのサムネイルの表示
 - 2.2.3 ビデオの再生
 - 2.2.4 写真とビデオの削除
 - 2.2.5 複数の写真とビデオの削除
- 2.3 写真の撮影：設定
 - 2.3.1 シャッタースピード
 - 2.3.2 バースト
 - 2.3.3 HDR

- 2.3.4 セルフタイマー
- 2.3.5 パノラマ
- 2.3.6 タイムラプス
- 2.4 写真とビデオの撮影：詳細設定
 - 2.4.1 明るさ
 - 2.4.2 オーバーレイ
 - 2.4.3 EVFタイムアウト
 - 2.4.4 ナイトグロー
 - 2.4.5 クイックレビュー
 - 2.4.6 画像の反転
- 2.5 ビデオの撮影：設定
 - 2.5.1 EIS
 - 2.5.2 フレームレートの設定
 - 2.5.3 解像度
 - 2.5.4 HDR

第3章ループモード **43**

- 3.1 トリガータイプ
- 3.2 トリガーモード

第4章WIFI /設定モード **45**

- 4.1 約
 - 4.1.1 工場出荷時のリセット
- 4.2 自動電源オフ
- 4.3 方位磁針
- 4.4 日時
 - 4.4.1 GPSセット
 - 4.4.2 フォーマット
- 4.5 SDカード
- 4.6 チャイム
- 4.7 オーディオ
- 4.8 GPS
 - 4.8.1 GPSをオンにする
 - 4.8.2 GPSフォーマットの変更
 - 4.8.3 ジオタグ画像
- 4.9 WIFI



第5章参照情報 55

5.1 バッテリー

5.1.1動作温度範囲

5.1.2バッテリー使用量を減らすためのヒント

5.1.3バッテリーの保管と取り扱い

5.1.4バッテリーの廃棄

5.2 カメラの仕様 56

5.3 SIONYX カスタマーケア 56

第6章トラブルシューティング 57

第7章保証 58

第1章はじめに

新しいSIONYXオーロラナイトビジョンカメラをご購入いただき、ありがとうございます。始めましょう！

1.2 バッテリーの充電

カメラを開梱した後、最初に行う必要があるのは、バッテリーを充電することです。
USBポートを介してバッテリーを充電します。

バッテリーを充電するには：

1. カメラがオフモードになっていることを確認します。



2. ビューファインダーリリースボタンを引き下げて、ビューファインダーを取り外します。



3. ビューファインダーをまっすぐ引き出します。



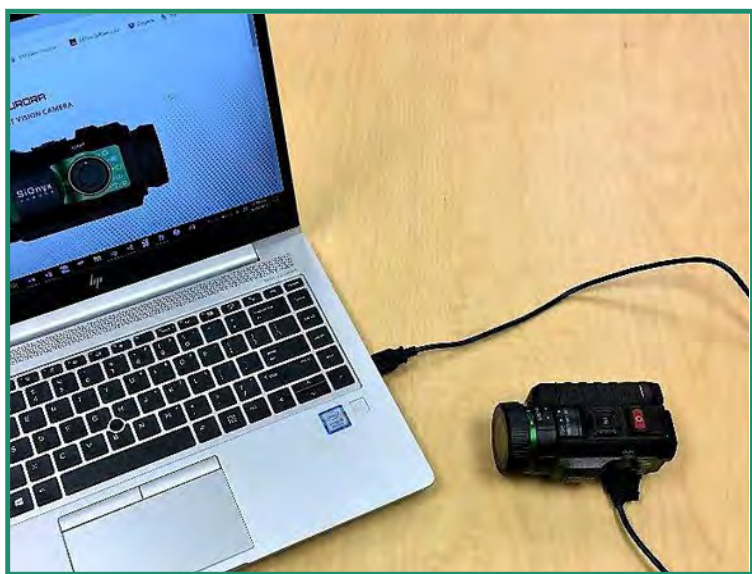
4. バッテリーをバッテリースロットにスライドさせます。

第1章はじめに

5. マイクロUSBケーブルをカメラのUSBポートに挿入します。



6. 付属のマイクロUSBケーブルを使用して、カメラを電源の入ったPCに接続します。



充電中は緑色のライトが表示され、ゆっくり点滅します。バッテリーが完全に充電されると、ライトが消えます。

注：バッテリーを100%まで充電するには、約2～3時間かかり、ビデオの撮影には約2時間かかります。

第1章はじめに

1.2.1 バッテリーの取り外し

1.ビューファインダーリリースボタンをプルダウンして、ビューファインダーを開きます。



2. ビューファインダーをまっすぐ引き出します。



3. バッテリーの左側にあるタブを押して、バッテリーを引き出します。ビューファインダーをスライドさせてスロットに戻します。

1.2.2 バッテリー充電の表示

バッテリーの残量を表示するには、設定ダイヤルを[写真]、[ビデオ]、[ループ]、または[WiFi / 設定]に回します。



バッテリーゲージのアイコンは画面の右下にあります。

第1章はじめに

1.3 カメラのモードと設定の表示

カメラボタンの概要は次のとおりです。

1.3.1 ボタンの概要



1.3.2 設定ダイヤル

設定ダイヤルは、カメラのオンとオフを切り替えたり、カメラモードを設定したりします。



• 電源を切る

• 写真

• ビデオ

• ループ

• 再生

• WiFi / 設定



第1章はじめに

1.3.3 ビューファインダー

電子ビューファインダー（EVF）には、カメラのメニューと制御システムが含まれています。EVFの右側には視度ダイヤルがあります。レンズに焦点を合わせる前に、これを使用して目を焦点に合わせます。バッテリーとマイクロSDカードにアクセスするには、EVFを取り外す必要があります。



1.3.4 シーンリング

シーンリングを使用して、レンズを時刻に合わせて調整します。



1.3.5 フォーカシングリング

フォーカシングリングを使用して、視覚的に、またはダイヤルの距離設定によってフォーカスを調整します。



第1章はじめに

1.4 マイクロSDカードの挿入

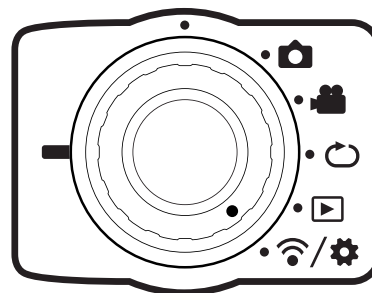
Micro SDカードは、すべてのビデオと写真を保持します。

1. Micro SDカードを挿入するには、ビューファインダーのリリースボタンを引き下げてビューファインダーを取り外します。
2. ビューファインダーをまっすぐ引き出します。
3. SDカードをスロットに挿入し、ロックされるまで押し込みます。取り外すには、もう一度押すと解放されます。
4. ビューファインダーをスライドさせてスロットに戻します。



注：SDカードをスロットに無理に押し込まないでください。データが損傷する可能性があります。

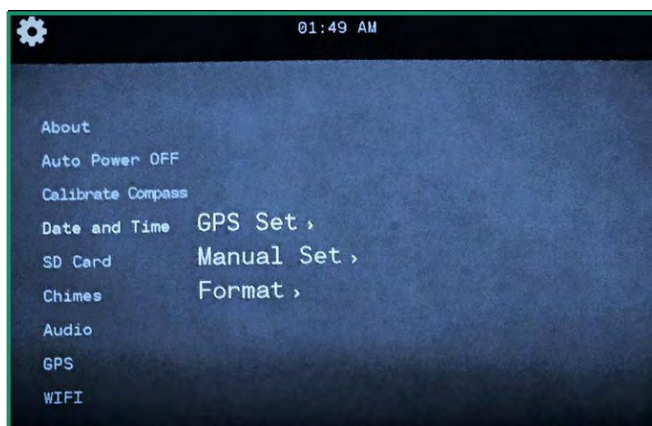
WiFi / 設定



1.5 日付と時刻の設定



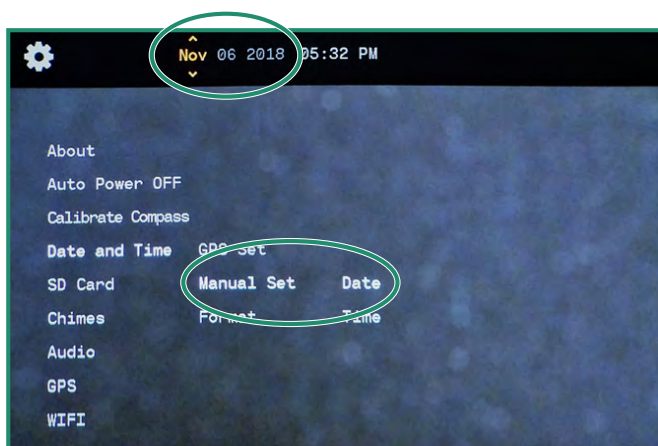
1. 日付と時刻を設定するには、設定ダイヤルを回転させてWiFi / 設定メニューに移動します。
2. SETを押して、WiFi / 設定メニューにアクセスします。
3. この警告は、日付と時刻が設定されるまで表示されます。
4. [日付と時刻]に切り替えて、[日付と時刻]オプションに右に切り替えます。
5. GPSで時刻を設定できます（すべてのカメラで利用できるわけではありません）（を参照）「セクション4.4.1GPSセット」。日付と時刻の形式を変更することもできます（「セクション4.4.2形式」を参照）。



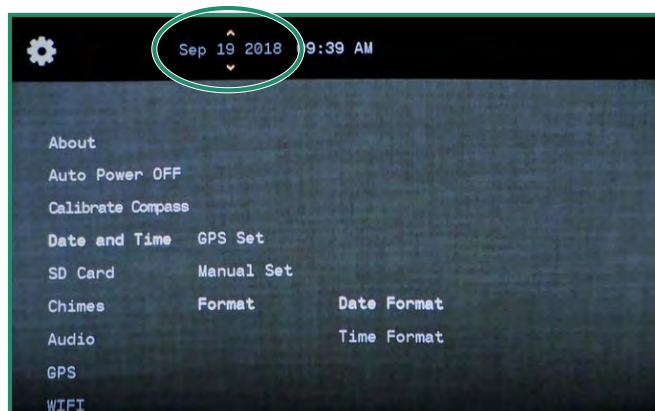
第1章はじめに

日付と時刻を手動で設定するには、[手動設定]に切り替えます。

1. 設定ダイヤルをWiFiと設定の位置に回します。
2. [日付と時刻]に切り替えてから、[手動設定]に右に切り替えます。
3. [日付]に右に切り替えて、[設定]を押します。メニュー上部の日付が変更モードになりました。
4. 上下に切り替えて日付を変更し、SETを押します。これらの手順を繰り返して時間を設定します。



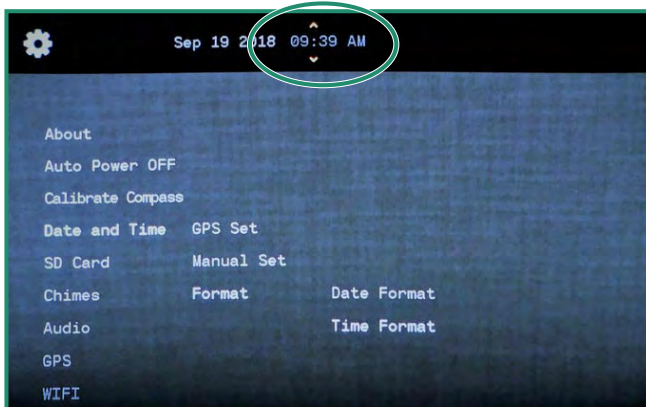
5. 日付形式を設定するには、日付形式に右に切り替えて、SETを押します。



6. 画面上部の日付形式を選択します。オプションを選択してSETを押します。「セクション4.4.2 フォーマット」を参照してください。

第1章はじめに

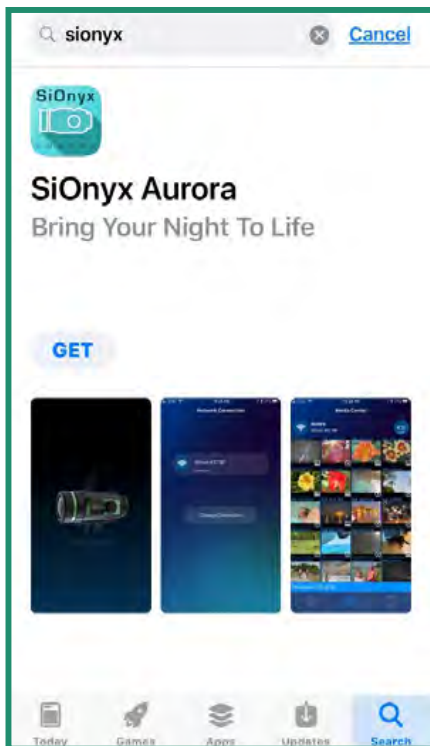
7. Time Formatに切り替えて、SETを押し、画面上部のオプションを選択して、SETを押します。
8. 左を2回切り替えてメインメニューに戻り、左を2回切り替えてメインメニューに戻ります。



1.6 カメラに接続するためのモバイルアプリのダウンロード

モバイルアプリは動作し、モバイルデバイスからカメラを制御してライブビューを表示できます。このアプリは、AppStoreとGooglePlayで入手できます。

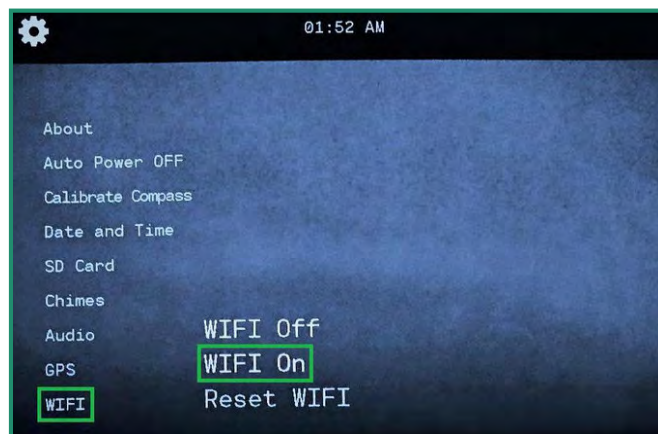
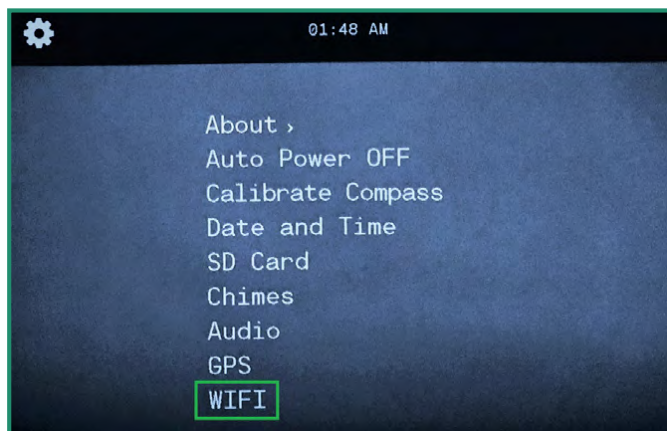
1. AppStoreまたはGooglePlayからSIONYXAuroraモバイルアプリをダウンロードします。



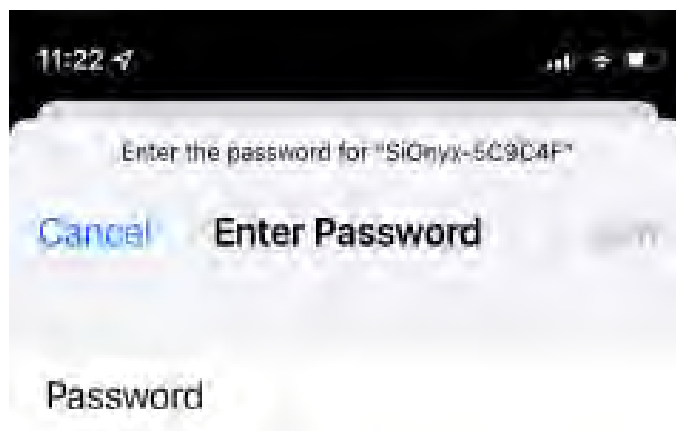
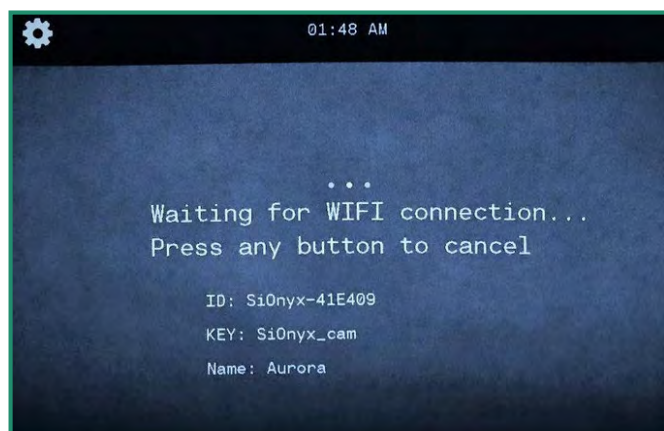
第1章はじめに

2. モバイルデバイスを接続するには、設定ダイヤルをWiFi / 設定モードに回してメニューにアクセスします。

3. WIFIに切り替え、右にWIFI Onに切り替えて、SETを押します。



4. 画面に「Wi-Fi接続を待っています...」と表示されます。

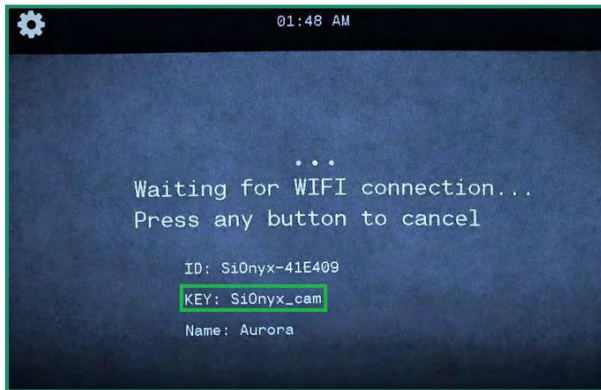


5. モバイルデバイスのWiFi設定に移動します。

- BLUETOOTHおよびセルラーサービスをオフにします
- SIONYXカメラのWiFi接続を選択します
- Wi-Fiパスワード「SiOnyx_cam」を入力します

第1章はじめに

パスワードはビューファインダーにキーとして表示されます。



WiFi接続が確立されると、ビューファインダーに「WiFi接続が確立されました」と表示されます。

6. モバイルアプリを開き、カメラ名をタップします。



これで、メディアセンターと呼ばれるアプリのホーム画面が表示されます。

注：SIONYX Aurora モバイルアプリの使用法の詳細については、サポートセンター (<https://support.SIONYX.com/support/home>) からモバイルアプリガイドをダウンロードしてください。



2.1 写真の撮影とビデオの撮影

2.1.1 写真を撮る

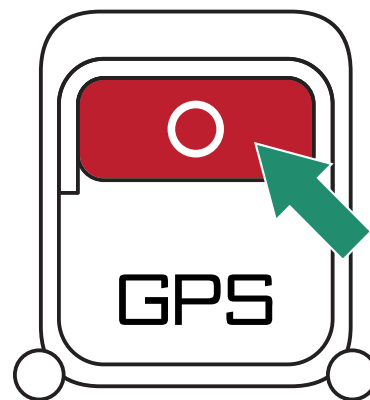


1. 写真を撮るには、設定ダイヤルを写真モードに回します
2. シャッターボタンを押して写真を撮ります。

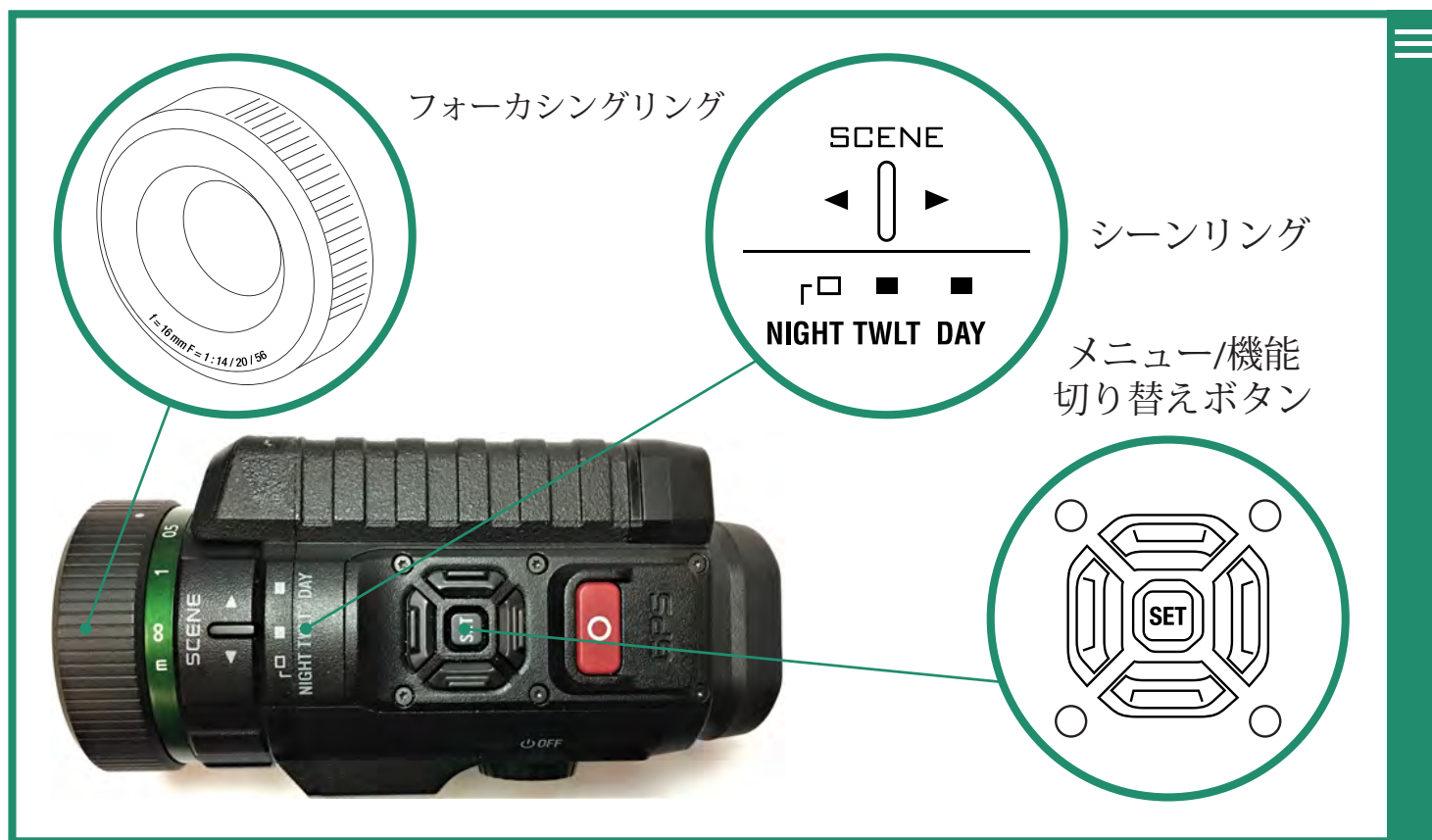
2.1.2 ビデオの撮影



1. ビデオを撮影するには、設定ダイヤルをビデオモードに回します
2. シャッターボタンを押して、ビデオを開始および停止します。

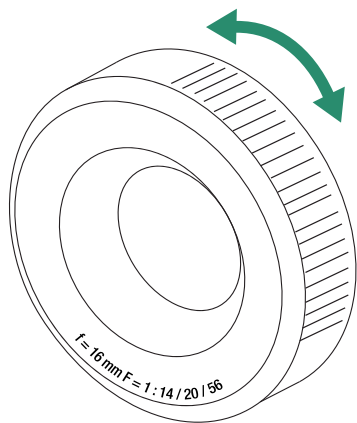


第2章写真とビデオ



2.1.3 フォーカスの調整

画像にピントを合わせるには、フォーカシングリングを左右に回します。

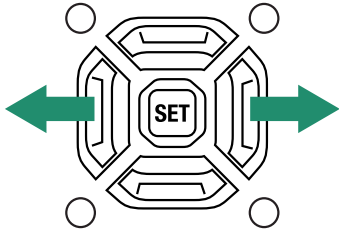


注：フォーカスを支援するために、シーン内のアクションが発生する距離を推定し、その距離をメートル単位でフォーカススケールに設定します。[オーバーレイ]メニューで[フォーカスピーク]をオンにすることもできます。

第2章写真とビデオ

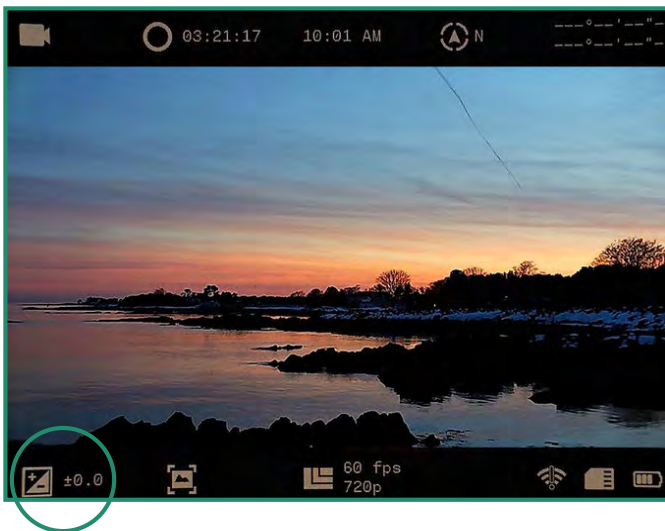
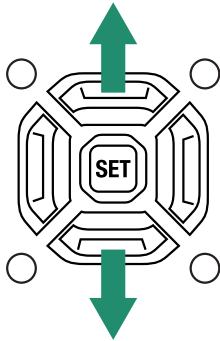
2.1.4ズーム

ズームインおよびズームアウトするには、左右を切り替えます。トグルを右に3回クリックすると、1：1の画像が得られます。



2.1.5 露出補正（ゲイン）の設定

露出補正（またはゲイン）は、シーンの明るさと暗さを調整します。上下に切り替えて露出補正を調整します。



露出補正/ゲイン設定は、ビューファインダーメニューの左下にあります。

第2章写真とビデオ

2.1.6 シーンリング

カメラには、夜、薄明、昼の設定があります。



- 夜-完全な暗視 (f / 1.4)
- トワイライト-日の出の約1時間前、日光の1時間後 (f / 2.0)
- 日-太陽または雲 (f / 5.6)

2.2 写真とビデオの表示と削除

再生モード機能を使用して、写真やビデオを表示および削除できます。

2.2.1 写真とビデオの表示とズームイン

再生モードでは、写真やビデオを表示および拡大できます。

1. 設定ダイヤルを再生モードに回します。
2. 撮影した最新の写真またはビデオが表示されます。
3. 左右に切り替えて、写真やビデオを表示します。
4. SETを長押しすると、一時的にズームインできます。



第2章写真とビデオ

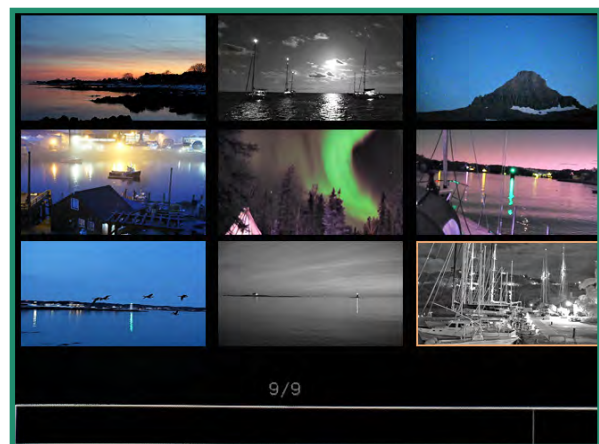
2.2.2写真とビデオのサムネイルの表示

再生モードでは、写真とビデオのサムネイルを4つまたは9つ表示できます。

1. 設定ダイヤルを再生モードに回します。
2. 最後に撮影した写真またはビデオが表示されます。
3. すばやく2回切り替えて、4つのサムネイルを表示します。



4. もう一度すばやく2回切り替えて、9つのサムネイルを表示します。



5. 左右に切り替えて、写真またはビデオを強調表示します。
6. サムネイルモードを終了するには、すばやく2回上に切り替えます。

第2章写真とビデオ

2.2.3ビデオの再生

再生モードでビデオを見る

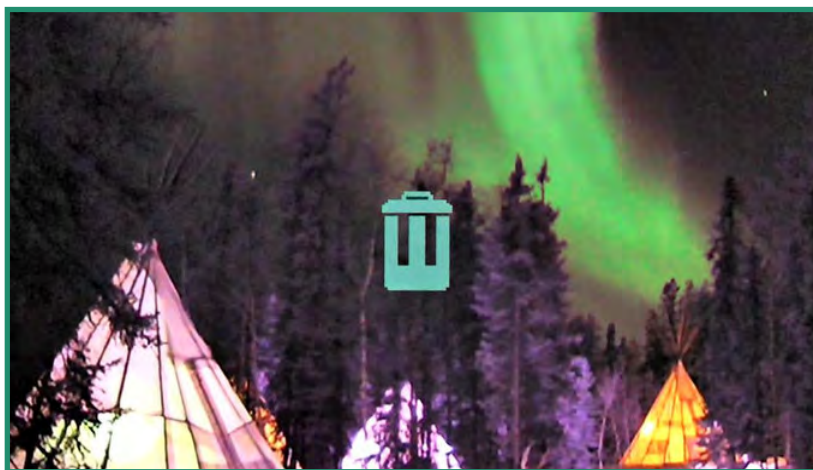
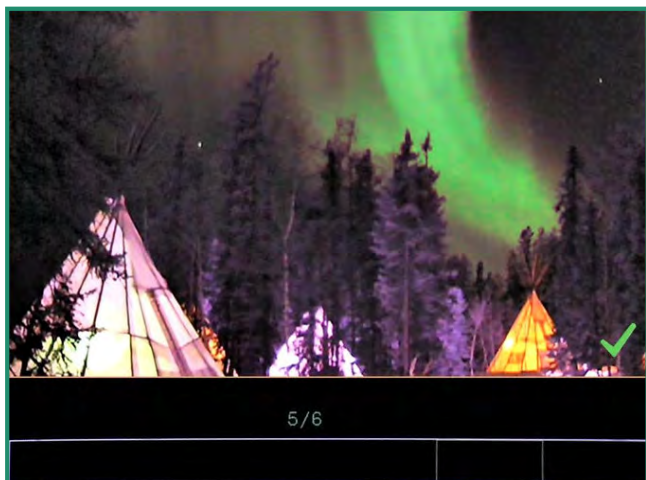


1. 設定ダイヤルを再生モードに回します。
2. 再生するビデオに切り替え、ビデオの再生が開始されるまでSETを長押しします。

2.2.4 写真とビデオの削除

再生モードで写真やビデオを削除する

1. 設定ダイヤルを再生モードに回します。
2. 削除する写真またはビデオに切り替えて、SETを押します。右下隅に緑色のチェックマークが表示されます。
3. ゴミ箱の画像が表示されるまでSETを長押しします。
4. 写真またはビデオを削除するには、ゴミ箱が点滅し始めるまでSETを長押ししてから、SETボタンを放します。画像または動画が削除されます。



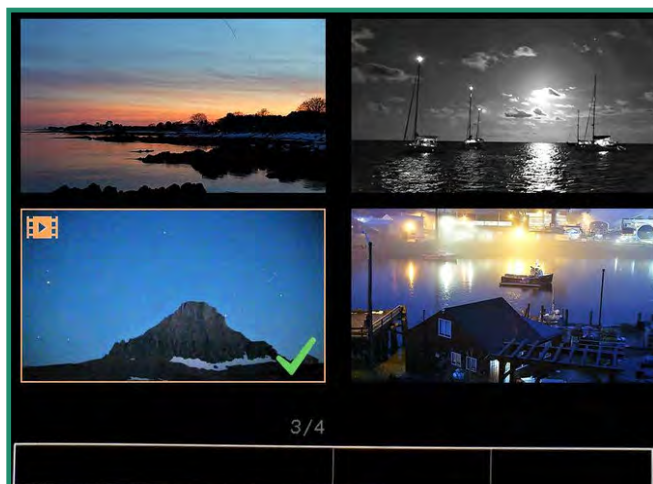
写真やビデオを削除しない場合は、左に切り替えると、画像が緑色のチェックマークの付いた画像に戻ります。SETを押してチェックマークを外します。

第2章写真とビデオ

2.2.5 複数の写真とビデオの削除

複数の写真や動画を同時に削除できます。

1. 設定ダイヤルを再生モードに回します。 
2. 「セクション2.2写真とビデオの表示と削除」の手順に従って、写真またはビデオのサムネイルを表示します。
3. 削除する写真またはビデオに切り替えます。
4. 画像を選択し、SETを押します。右下隅に緑色のチェックマークが表示されます。削除する画像ごとにこれを行います。



5. ゴミ箱が表示されるまでSETを長押しします。
6. 削除を続行するには、ゴミ箱が点滅し始めるまでSETを長押しします。
7. 写真またはビデオが削除されます。

写真やビデオを削除したくない場合は、左に切り替えると緑色のチェックマークが表示されます。SETを押して、チェックマークを外します。

第2章写真とビデオ

2.3 写真の撮影：設定

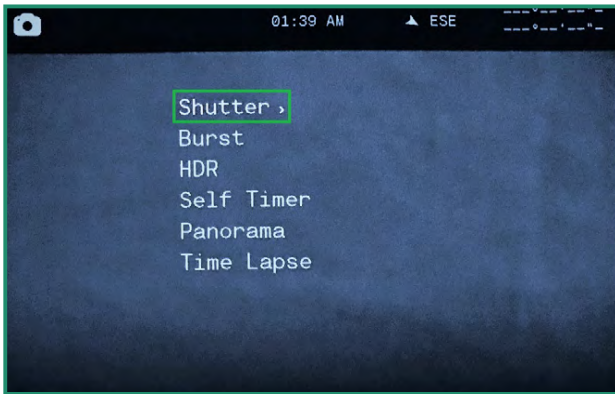


2.3.1 シャッタースピード

シャッタースピードは、写真を撮るときにシャッターが開いている時間の長さです。シャッタースピードを速くすると、光が少なくなり、被写体の動きが少なくなります。

シャッター設定には、自動と手動の2つがあります。カメラはデフォルトで自動に設定されています。シャッタースピードを調整できます。

1. 設定ダイヤルを写真モードに回してカメラの電源を入れます。
2. SETを押して、カメラメニューにアクセスします。
3. シャッターを右に切り替えて自動または手動に切り替えます。



4. シャッター設定を手動で設定するには、[手動]に切り替え、[シャッター速度]を右に切り替えます。



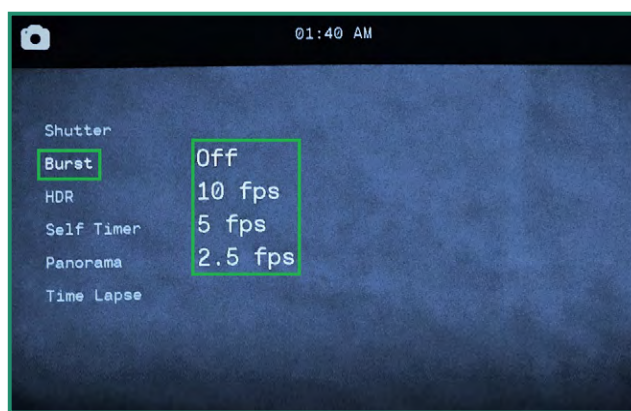
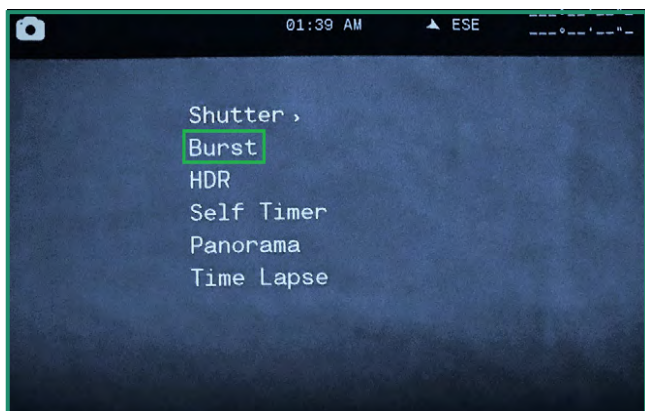
5. 上下に切り替えて、シャッター速度の設定をスクロールします。
6. SETを押して、シーンに最適なシャッタースピードを選択します。シャッタースピードは1/8000秒から1.5秒まで設定できます。
7. 左に切り替え、SETを押してシャッタースピードを終了します。画面下部にシャッタースピードが表示されるようになりました。

第2章写真とビデオ

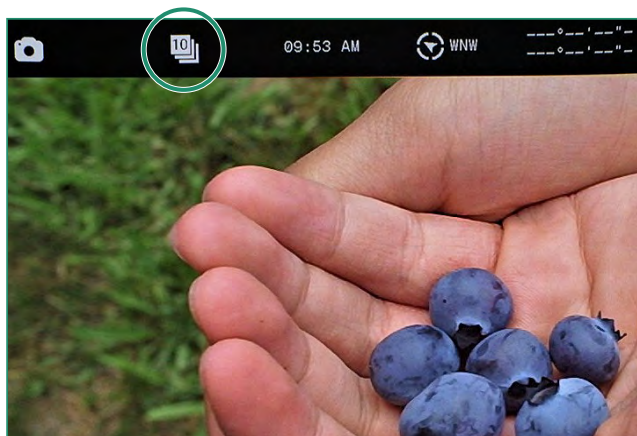
2.3.2 バースト

バーストモードでは、10フレーム/秒 (fps)、5 fps、または2.5fpsの速度でユニークな連続写真を撮ることができます。バーストモードは、アクションショットをキャプチャするときに役立ちます。

1. 設定ダイヤルを写真モードに回してカメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. バーストに切り替えてから、オプションに右に切り替えます。
4. シーンに最適なオプションを選択し、SETを押します。



5. SETを押してメニューを終了すると、バースト設定アイコンが表示されます。



6. 写真を撮るには、シャッターボタンを押します。チャイムをオン（推奨）にすると、カメラが撮影するすべての写真のクリック音が聞こえます。クリックが止まるまでシャッターボタンを押し続けます。

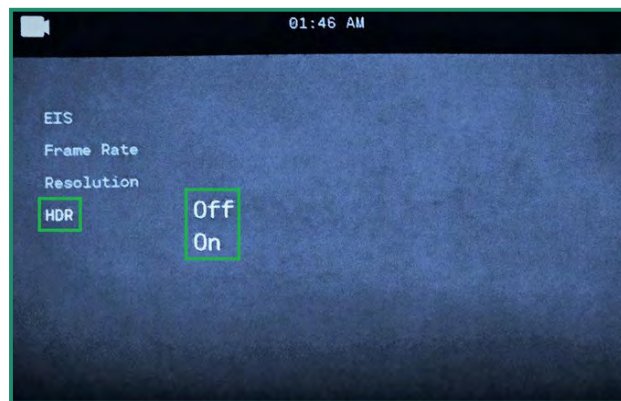
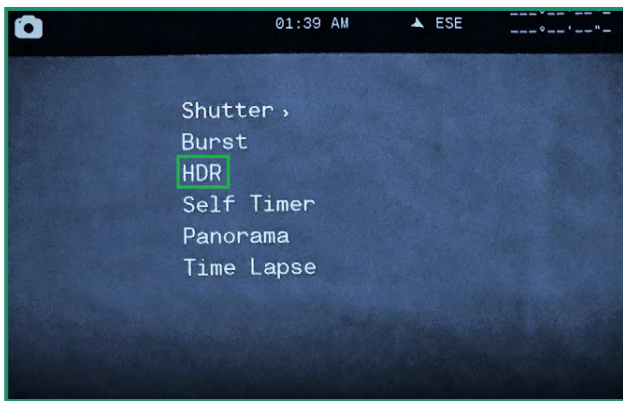
注：カメラの電源をオフにしてから再度オンにすると、すべての機能が選択されたままになります。

第2章写真とビデオ

2.3.3 HDR

HDR（ハイダイナミックレンジ）を使用すると、明るい領域と暗い領域からより多くの詳細をキャプチャできます。

1. 設定ダイヤルを写真モードに回してカメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. 下にHDRに切り替え、右にオンまたはオフに切り替えて、SETを押します。
4. SETを押してメニューを終了します。



5. HDRアイコンがビューファインダーに表示されます。



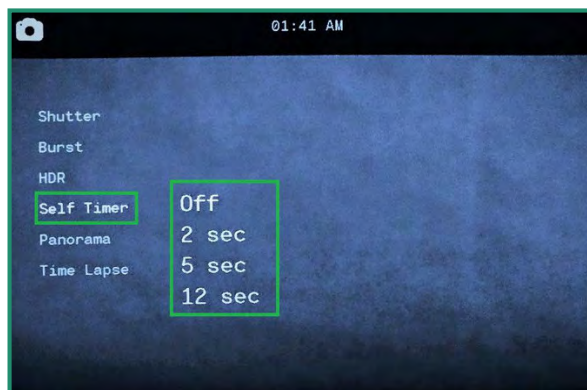
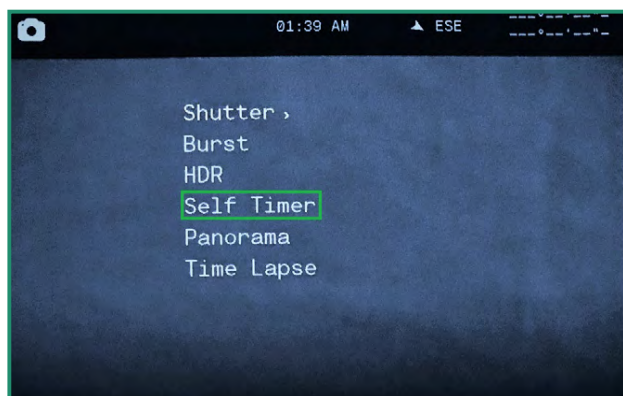
注： カメラの電源をオフにしてから再度オンにすると、すべての機能が選択されたままになります。

第2章写真とビデオ

2.3.4 セルフタイマー

セルフタイマーを使用すると、シャッターを切るタイミングを遅らせて、写真に含めることができます。セルフタイマーは2、5、または12秒に設定できます。

1. 設定ダイヤルを写真モードに回してカメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. セルフタイマーに切り替えて、オプションを右に移動します。
4. 必要な遅延量まで切り替えて、SETを押します。



5. SETを押して、メニューを終了します。ビューファインダーでセルフタイマーの設定を確認できます。



シャッターボタンを押すと、チャイムが鳴って遅延がカウントダウンされ、写真を撮るときにクリック音が鳴ります。

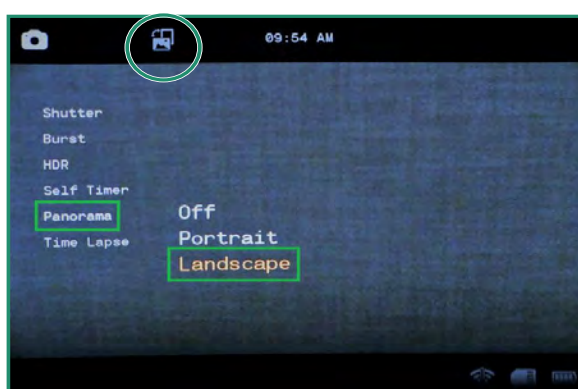
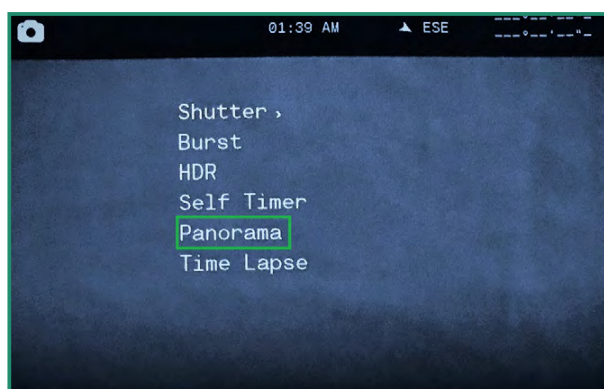
注：カメラの電源をオフにしてから再度オンにすると、すべての機能が選択されたままになります。

第2章写真とビデオ

2.3.5 パノラマ

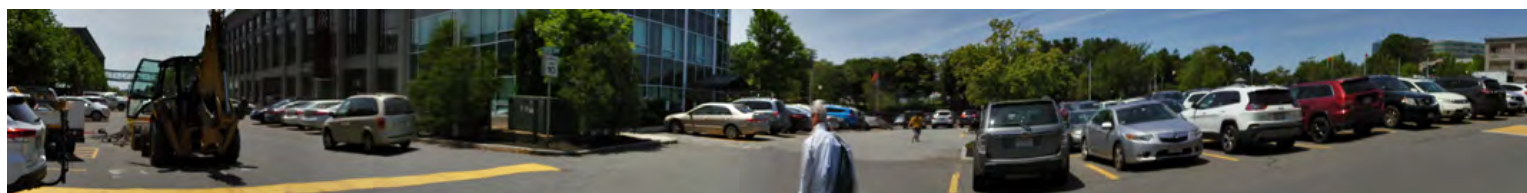
パノラマ写真を撮るには、カメラを左から右にパンして風景写真を撮ったり、上下にパンしてポートレート写真を撮ったりします。カメラは180度の写真を生成します。

1. 設定ダイヤルを写真モードに回してカメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. パノラマに切り替え、ポートレートまたはランドスケープに右に切り替えます。
4. SETを押して、メニューを終了します。パノラマ設定アイコンがファインダーに表示されます。



5. パノラマ写真を撮るには、シャッターボタンを押します。灰色のプログレスバーが画面の左側（横向き）または画面の下部（縦向き）に表示されます。カメラを上下（ポートレート）または左右（風景）に移動します。カメラを動かすと、画面の下部に灰色のバーが表示されます。

パノラマは90度から180度の間でなければなりません。それより少ない場合、またはカメラの移動が速すぎる場合は、「スイング範囲エラー」というエラーメッセージが表示されます。180度を完全に動かしたくない場合は、シャッターボタンを押して写真の撮影を停止します。



第2章写真とビデオ

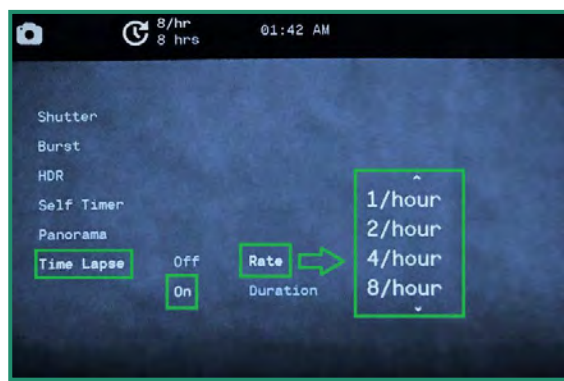
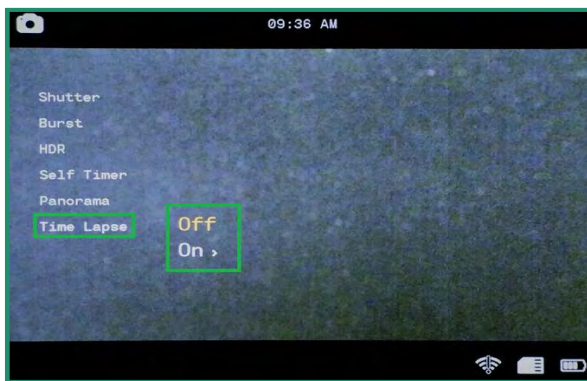
2.3.6 タイムラプス

選択可能な時間数の間、1時間あたり特定の数の写真を撮影するようにカメラを設定できるタイムラプス機能。タイムラプスが完了すると、カメラはビデオを作成します。

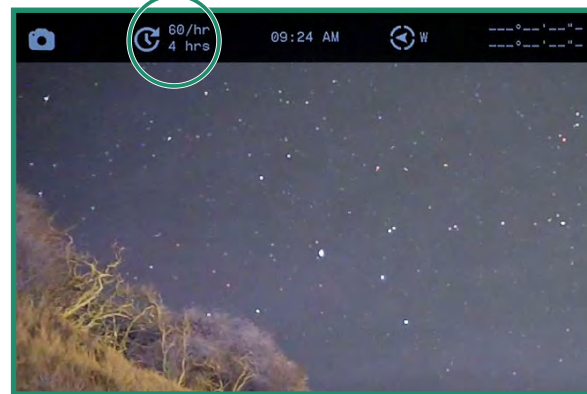
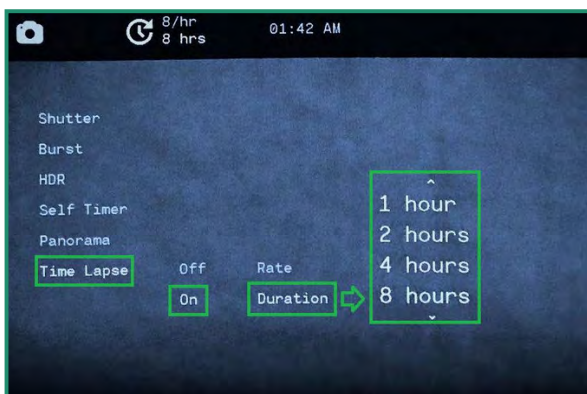
カメラは、1時間に1枚、1時間に最大60枚の速度で写真を撮影します。

タイムラプス持続時間機能を使用して、カメラに設定された期間にわたって写真を撮らせることもできます。これは、カメラが1時間から最大24時間写真を撮ることができることを意味します。

1. 設定ダイヤルを写真モードに回してカメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスし、タイムラプスに切り替えます。
3. 右をオンに切り替え、もう一度右に切り替えてレートを設定します。
4. SETを押してレートを選択します。



5. [期間]に切り替え、右に切り替えて時間数を選択します。
6. 左を2回切り替え、SETを押して終了します。



7. タイムラプス設定が画面の上部に表示されます。
8. タイムラプスセッションを開始するには、カメラをその場所に置き、シャッターボタンを押します。

第2章写真とビデオ

2.4 写真とビデオの撮影：詳細設定

カメラには、撮影のニーズに役立ついくつかの追加設定があります。

注：これらの設定は、写真、ビデオ、およびループモードで使用できます。クイックレビュー機能は、写真モードでのみ使用できます。「セクション2.4.5クイックレビュー」を参照してください。



2.4.1 明るさ

明るさ機能を使用して、ビューファインダーの明るさを調整できます。デフォルトは自動で、高、中、低に変更できます。

ファインダーの明るさは、夜、黄昏、昼の各シーンモードで変化します。

1. 設定ダイヤルを回転させて、写真、ビデオ、またはループモードにします。
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
3. 明るさを右に切り替え、目と状況に最も適したオプションを選択して、SETを押します。
4. もう一度SETを押して、メニューを終了します。



第2章写真とビデオ

2.4.2 オーバーレイ（すべてのカメラで利用できるわけではありません）

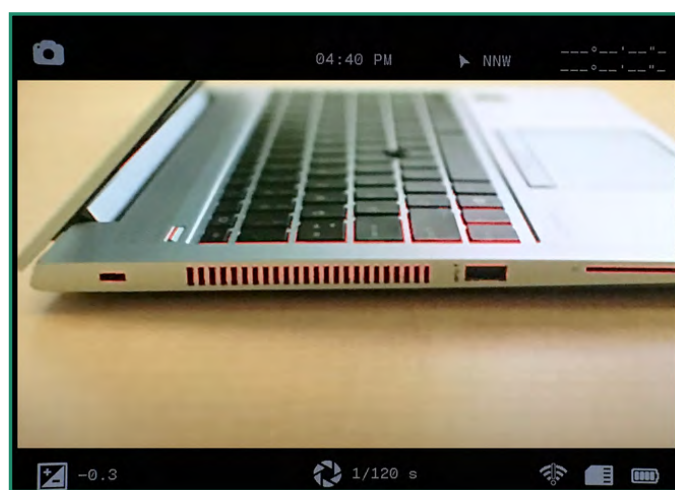
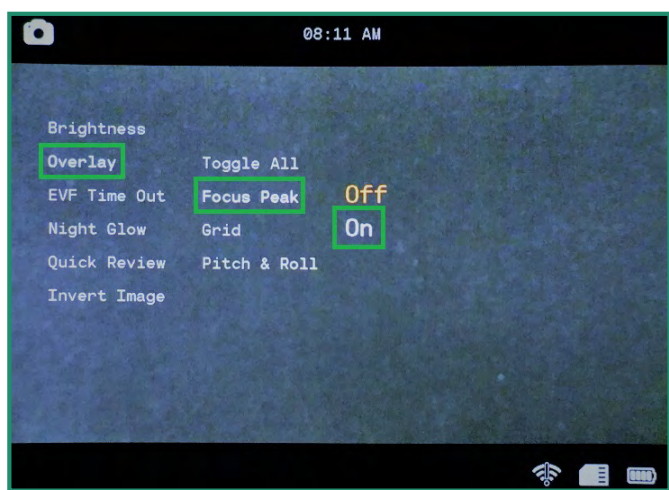
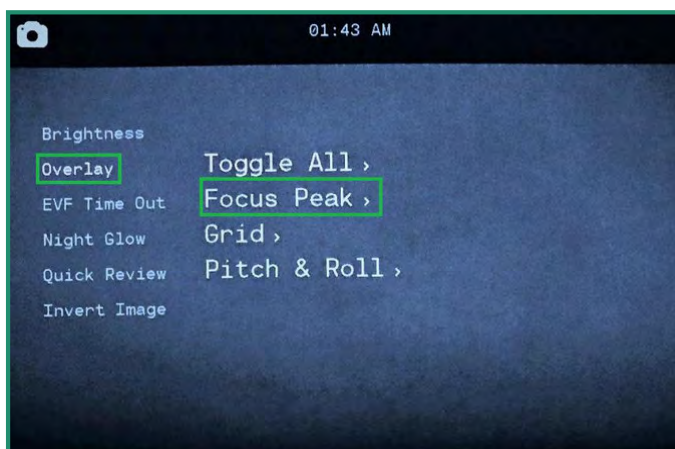
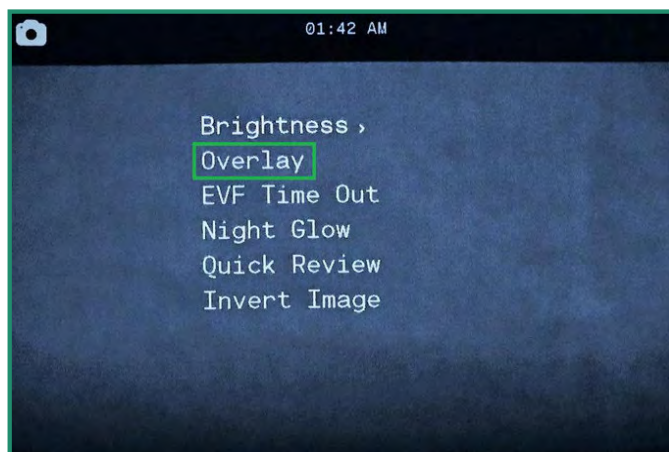
オーバーレイメニューには、より正確で水平な写真やビデオを撮るのに役立つ特別な機能があります。

2.4.2.1 フォーカスピーク

フォーカスピークは、焦点の合ったエッジに赤いハイライトを配置するフォーカシングエイドです。



1. 設定ダイヤルを写真、ビデオ、またはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
3. [オーバーレイ]に切り替えてから、右と下に切り替えてフォーカスピークに切り替えます。
4. フォーカスピークを右に切り替えます。[オフ]または[オン]を選択して、[設定]を押します。



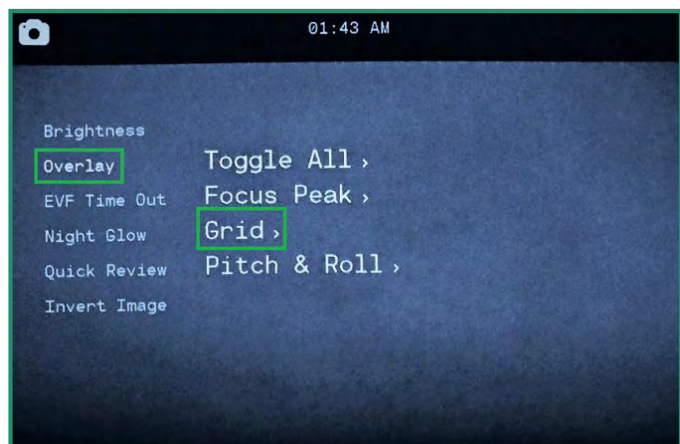
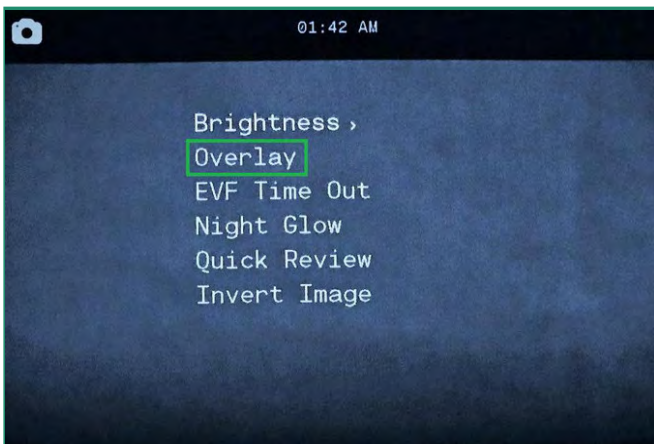
5. 左に切り替え、SETを押してメニューを終了します。これで、被写体に焦点が合っている赤いエッジが表示されます。

第2章写真とビデオ

2.4.2.2 グリッド（すべてのカメラで利用できるわけではありません）

グリッド機能は、4本の線のグリッドを使用してビューファインダーを9つのセクションに分割します。グリッドは、写真やビデオの被写体を揃えるのに役立ち、画像の構成に役立ちます。

1. 設定ダイヤルを写真、ビデオ、またはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
3. [オーバーレイ]に切り替えてから、右と[グリッド]に切り替えます。
4. もう一度右に切り替えて、[オン]を選択し、[設定]を押します。
5. 左に切り替え、SETを押して終了します。



グリッドがビューファインダーに表示されます。

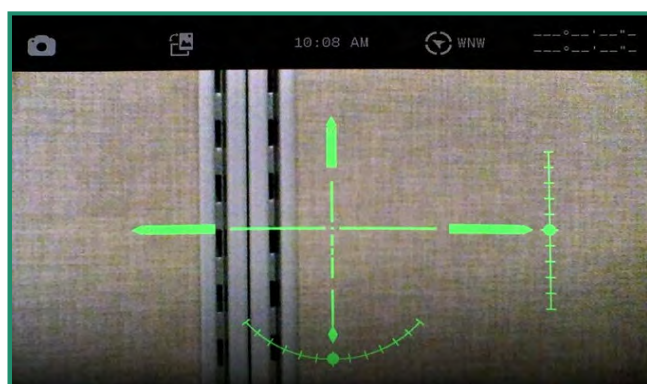
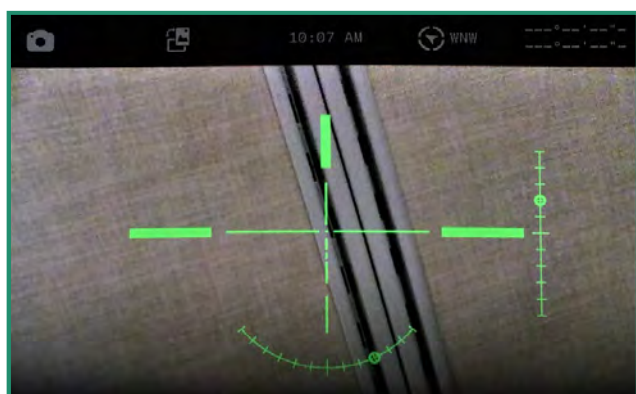
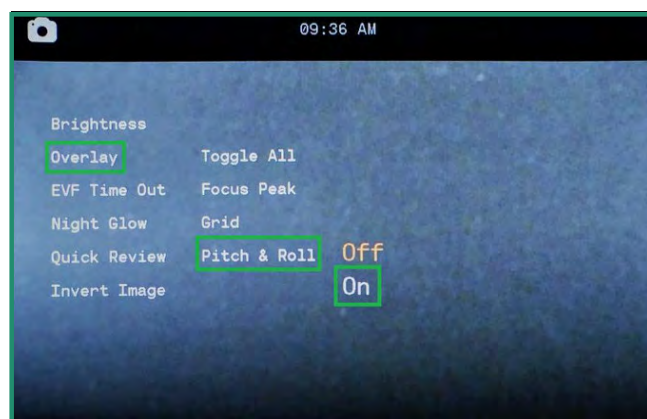
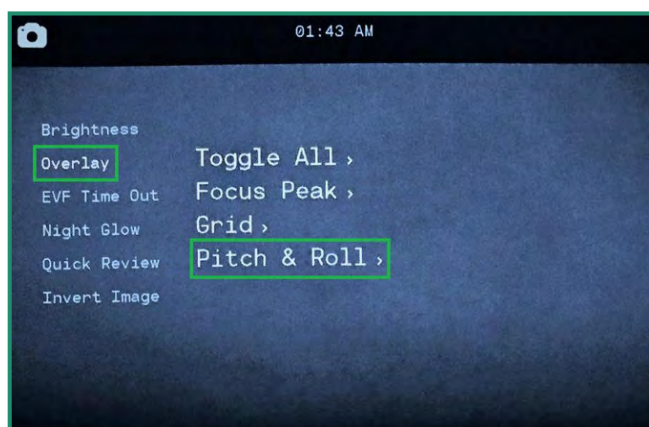
第2章写真とビデオ

2.4.2.3 ピッチアンドロール（すべてのカメラで利用できるわけではありません）

ピッチ&ロール機能は、カメラを前後左右に水平に保つのに役立ちます。



1. 設定ダイヤルを写真、ビデオ、またはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
3. [オーバーレイ]に切り替えてから、右と[ピッチ&ロール]に切り替えます。
4. 右に切り替えてオンにし、SETを押します。
5. 左に切り替え、SETを押して終了します。



ピッチ&ロール機能がビューファインダーに表示されます。

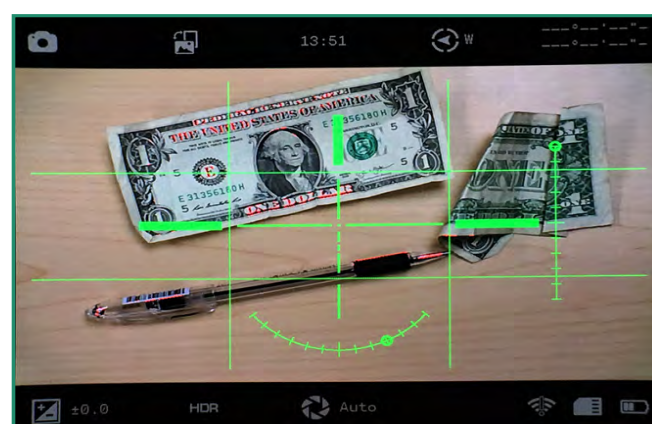
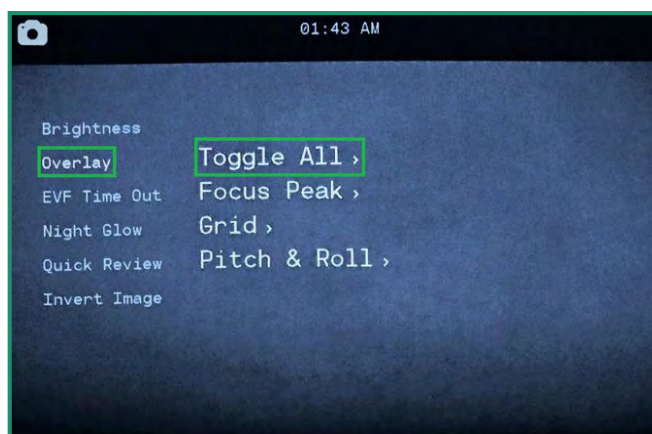
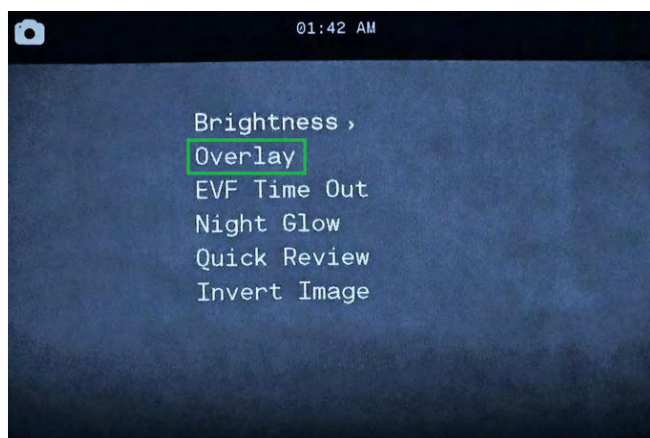
カメラを水平にするには、垂直バーと水平バーの端にポインターが表示されるまで移動します。

第2章写真とビデオ

2.4.2.4 すべてを切り替えます（すべてのカメラで利用できるわけではありません）

すべてトグルオプションは、フォーカスピーク、グリッド、ピッチ&ロールの3つのオーバーレイ機能すべてのオンとオフを切り替えます。

1. [すべて切り替え]オプションをオンにするには、[設定]ダイヤルを[写真]、[ビデオ]、または[ループモード]に回転させます。
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
3. [オーバーレイ]に切り替えてから、右に[すべて切り替え]オプションを選択します。
4. すべてオフまたはすべてオンを選択してSETを押します。
5. 左に切り替え、SETを押して終了します。



すべてのオーバーレイの選択がビューファインダーに表示されます。

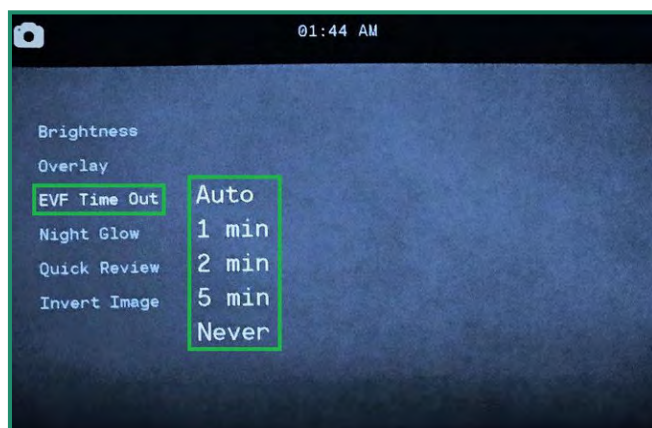
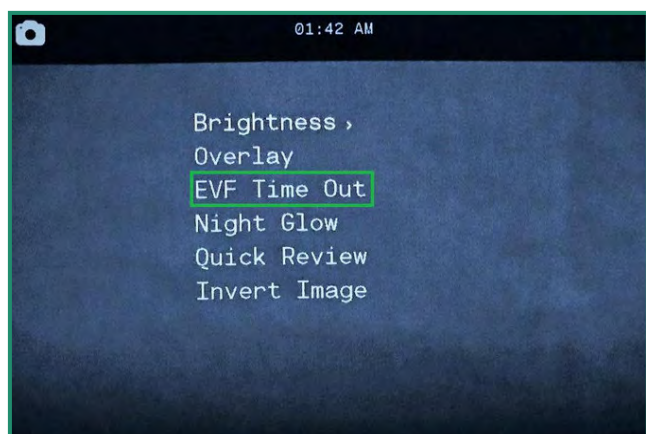
注：カメラの電源をオフにしてから再度オンにすると、すべての機能が選択されたままになります。

2.4.3 EVFタイムアウト

電子ビューファインダー（EVF）を特定の時間間隔でオフにするように設定できます。カメラはオンのままですが、設定した時間が経過するとEVFはオフになります。EVFタイムアウトオプションを設定すると、バッテリーの使用量が減ります。

電子ビューファインダーには、バッテリー寿命を節約するためにビューファインダーを自動的にオンまたはオフにする近接センサー（すべてのカメラで利用できるわけではありません）が含まれています。近接センサーが目で遮られると、ファインダーがオンになります。

1. 設定ダイヤルを写真、ビデオ、またはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
3. EVFタイムアウトに切り替え、タイムアウトオプションに右に切り替えます。
4. 必要なオプションに切り替え、SETを2回押してタイムアウトを選択し、終了します。



注：EVF設定はビューファインダーに表示されません。

第2章写真とビデオ

2.4.4 ナイトグロー

ナイトシーンで利用できるナイトグローメニューには、次の3つの設定があります。

1. **グレースケール** – この設定は、ビューファインダーをグレーの色合いに調整し、写真を撮ることができるようになります または、人工光がなく、自然光がほとんどない場合のビデオ。これは、狩猟のシナリオで役立ちます。
2. **緑** – 人間の目は緑の光に対してより敏感であるため、緑の設定は色で発生する可能性のある注意散漫を取り除きます。
3. **夜の色** – この設定は、夜のシナリオでビューファインダーを色に調整します。この設定は、夜間にボートをドッキングする場合など、色を感知することが重要な場合に役立ちます。



1. 夜光の設定を変更するには、最初にシーンリングを夜に回します。
2. 設定ダイヤルを写真、ビデオ、またはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
3. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
4. シーンに最適なオプションを選択し、SETとSETをもう一度押して終了します。

注：ナイトグロー設定はビューファインダーに表示されません。

第2章写真とビデオ

2.4.5クイックレビュー

クイックレビュー機能を使用すると、写真を1、2、または4秒間撮影した直後に写真をレビューできます。

この機能は写真モードでのみ機能します。

1. 設定ダイヤルを写真モードに回してカメラの電源を入れます。
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。



3. [クイックレビュー]に切り替えて、オプションを右に移動します。
4. 必要なオプションに切り替え、SETとSETをもう一度押して終了します。

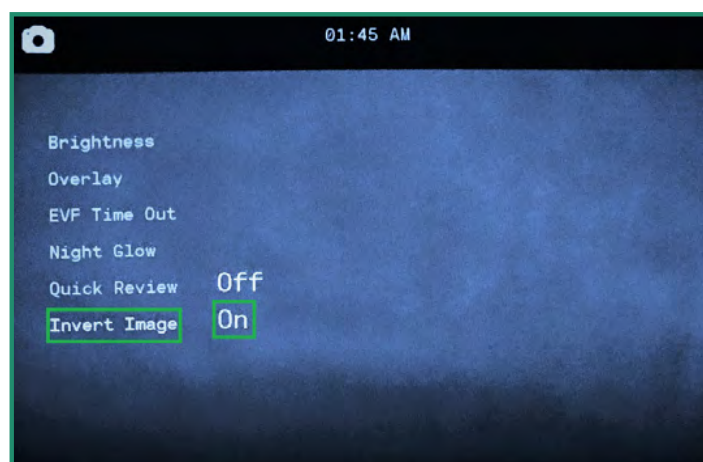


第2章写真とビデオ

2.4.6 画像の反転（メニュー）

画像の反転（メニュー）機能を使用すると、カメラが上下逆になっているときにメニューを読み取ることができます。

1. 設定ダイヤルを写真、ビデオ、またはループモードに回して、カメラの電源を入れます
2. SETボタンを長押しして、メニューにアクセスします。
3. 下に切り替えて[画像を反転]に切り替え、右に切り替えてオプションをオンにします。SETを押し、もう一度SETを押して終了します。
4. メニューが反転します。



注：カメラの電源をオフにしてから再度オンにすると、すべての機能が選択されたままになります。

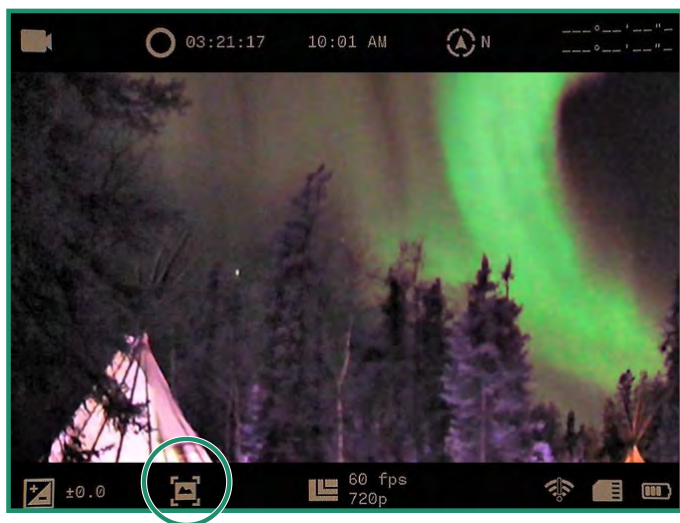
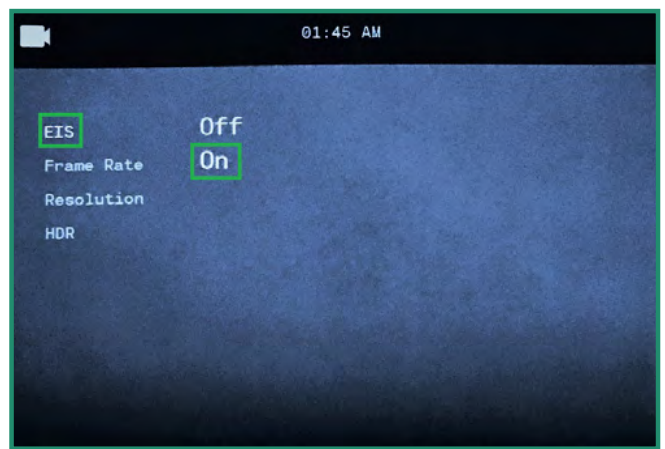
第2章写真とビデオ

2.5ビデオの撮影：設定

2.5.1 EIS

電子手ぶれ補正（EIS）は、電子処理を使用してビデオを安定させます。EIS設定をオンにすると、ブレが最小限に抑えられ、カメラのブレが補正されます。

1. 設定ダイヤルをビデオモードまたはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. EISを右に切り替えて、オプションをオフまたはオンにします。SETを押して選択し、もう一度SETを押して終了します。
4. ファインダーをのぞくとEISの設定がわかります。



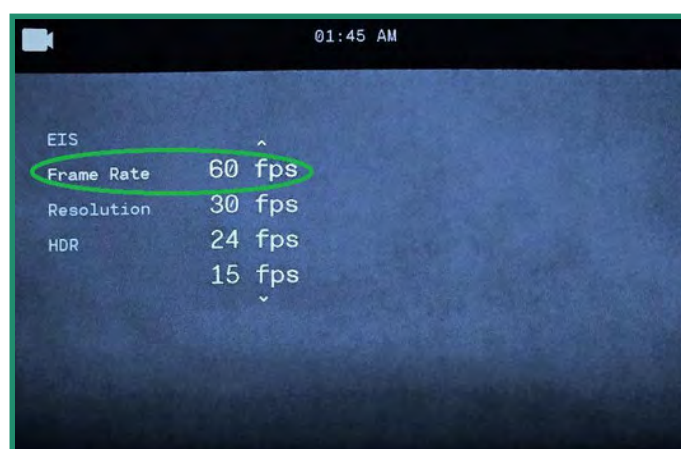
第2章写真とビデオ

2.5.2 フレームレートの設定

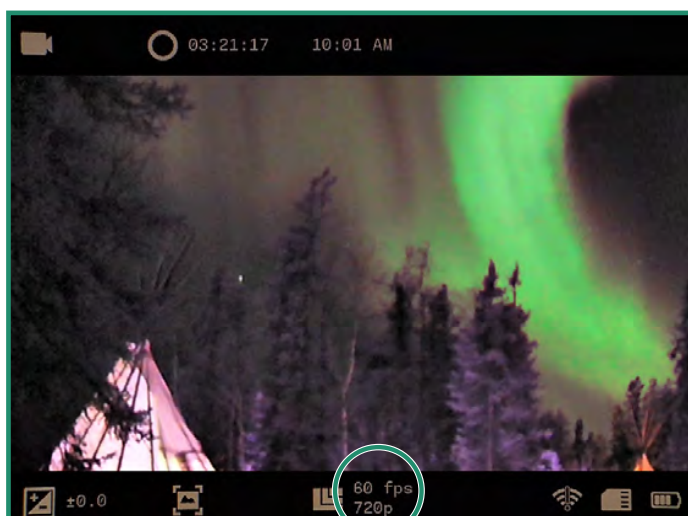
フレームレートは、カメラがビデオを録画する速度です。



1. 設定ダイヤルをビデオモードまたはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. フレームレートに切り替えて、FPSオプションを右に切り替えます。
4. シーンに最適なレートを選択します。SETを押し、もう一度SETを押して終了します。



注：60fpsは、通常、滑らかな外観のビデオを生成します。フレームレートは60fpsからSloMoまで設定できます。フレームレートはビューファインダーの下部に表示されます。シーンリングで[日]設定を使用する場合に最良の結果を得るには、60fpsを選択します。TwilightまたはNight設定で、30fps以下を選択します。



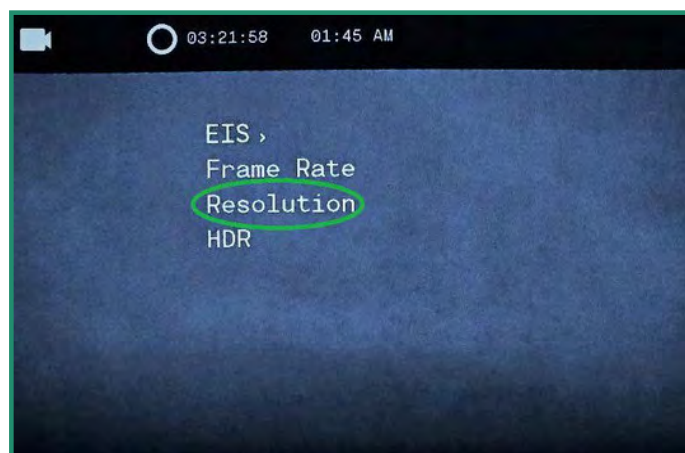
第2章写真とビデオ

2.5.3 解像度

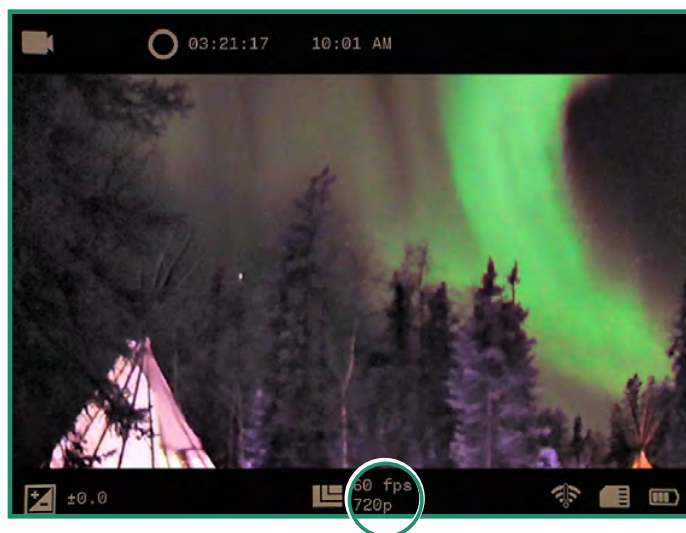
カメラには、720pと360pの2つのビデオ解像度があります。



1. 設定ダイヤルをビデオモードまたはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. 解像度に切り替えて、720pまたは360pを選択します。SETを押し、もう一度SETを押して終了します。



4. 解像度はファインダーの下部に表示されます。



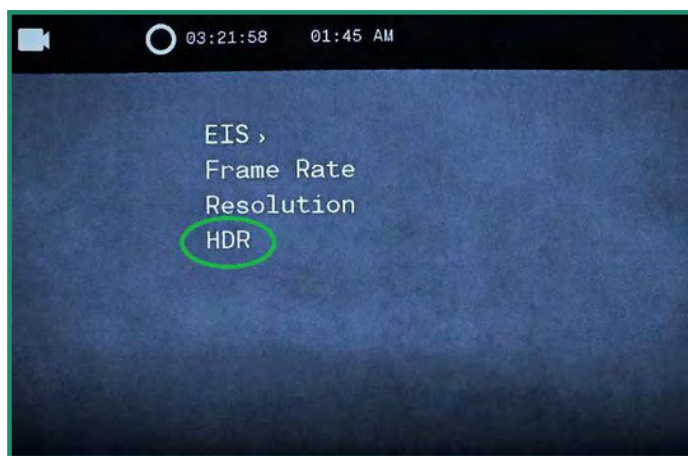
注：カメラの電源をオフにしてから再度オンにすると、すべての機能が選択されたままになります。

第2章写真とビデオ

2.5.4 HDR

HDR（ハイダイナミックレンジ）は、明るい領域と暗い領域からより多くの詳細をキャプチャできるようにする手法です。

1. 設定ダイヤルをビデオモードまたはループモードに回して、カメラの電源を入れます。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. HDRに切り替え、右に切り替えて[オン]または[オフ]を選択します。SETを押して選択し、もう一度SETを押して終了します。



4. ビューファインダーの下部にHDRアイコンが表示されます。



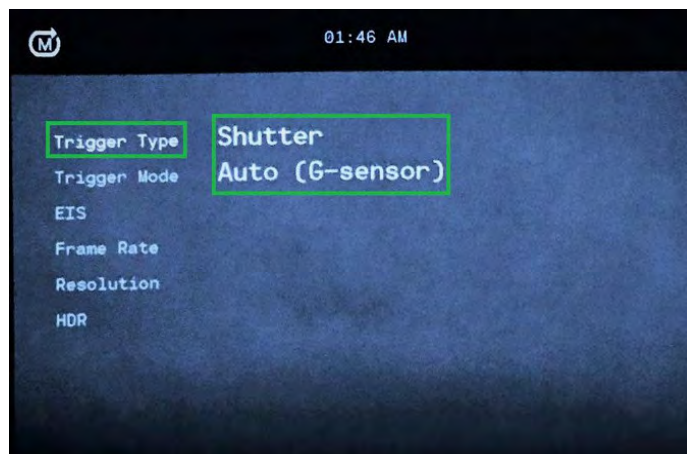
第3章ループモード

ループモードでは、トリガーによってアクティブ化されたビデオをキャプチャできます。トリガーは、シャッターボタンまたはカメラへの衝撃（すべてのカメラで利用できるわけではありません）のいずれかです。

3.1 トリガータイプ

シャッターボタンまたはセンサーでトリガーをアクティブにするように設定できます。

1. トリガータイプを設定するには、設定ダイヤルをループモードに回します。
2. SETを押して、ループメニューにアクセスします。
3. トリガーモードを右に切り替えてシャッターまたは自動を選択し、SETを押して選択し、もう一度SETを押して終了します。
4. トリガー設定がビューファインダーに表示されます。



注：カメラの電源をオフにしてから再度オンにすると、すべての機能が選択されたままになります。

第3章 ループモード

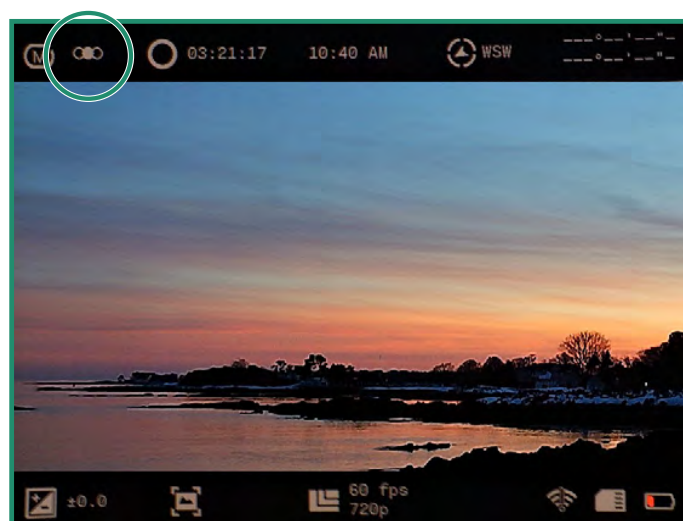
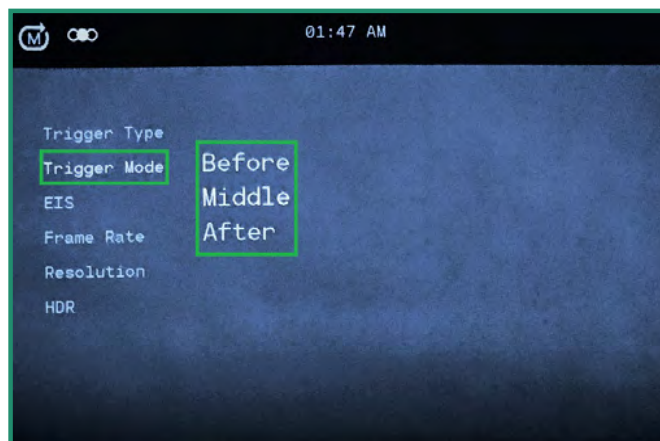
3.2 トリガーモード

トリガーモードは、次の3つの異なるタイミングオプションに設定できます。

- 前 - トリガーの30秒前に記録します
- ミドル - トリガーの15秒前と15秒後に記録します
- 後 - トリガーから30秒後に記録します



1. トリガーモードを設定するには、設定ダイヤルをループモードに回します。
2. SETを押してメニューにアクセスします。
3. トリガーモードを右に切り替え、SETを押してモードを選択し、もう一度SETを押して終了します。
4. トリガーモードはビューファインダーの左上に表示されます。



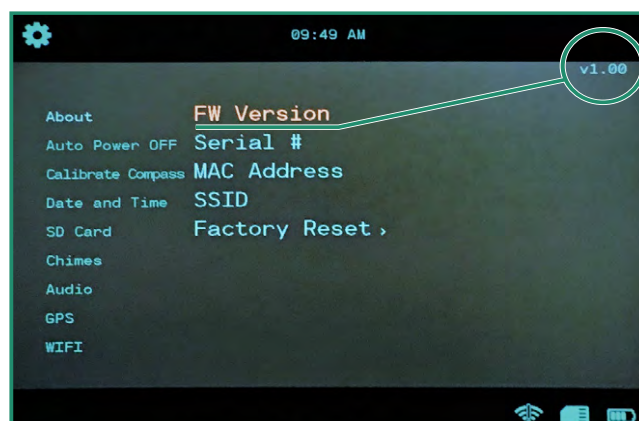
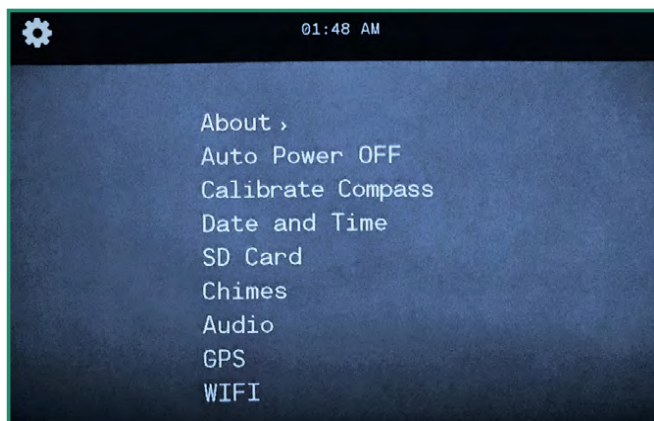
第4章WIFI /設定モード

4.1 について

[バージョン情報]オプションは、カメラに関する情報を表示します。



1. 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. WiFi /設定メニューが表示されます。
3. [バージョン情報]を右に切り替えてメニューにアクセスします。



4.1.1 ファクトリリセット

工場出荷時のリセットは、カメラをデフォルト設定に戻します。

1. 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. [バージョン情報]を右に切り替え、[ファクトリリセット]を下に切り替えます。[はい]を選択してカメラをリセットします。
3. ファクトリリセットが完了すると、前のメニューに戻ります。SETを押してメニューを終了します。カメラの電源をオフにしてから再度オンにして、ファクトリリセットを完了します。



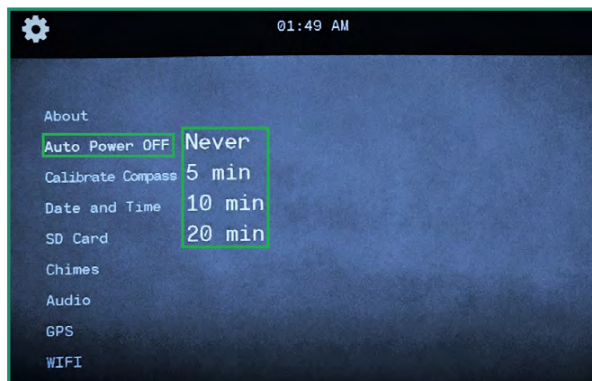
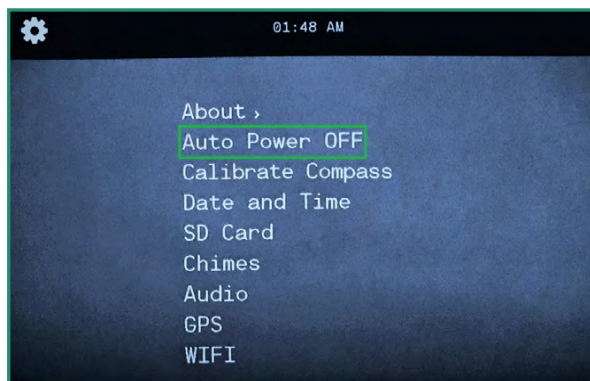
Note: To exit out of the WiFi/Settings menu, simply rotate the Settings Dial to another Mode.

第4章WIFI /設定モード

4.2自動電源オフ

自動電源オフオプションは、Never、5分、10分、または20分の時間枠でカメラを自動的にオフにします。 デフォルト設定はNeverです。

- 1.設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. [自動電源オフ]に切り替え、[電源オフ]オプションを右に切り替えます。
- 3.カメラの用途に最適なオプションに切り替えて、SETを押します。
- 4.設定ダイヤルを別のモードに回してメニューを終了します。

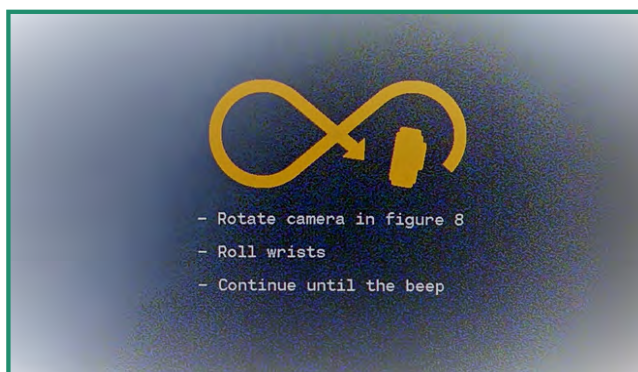
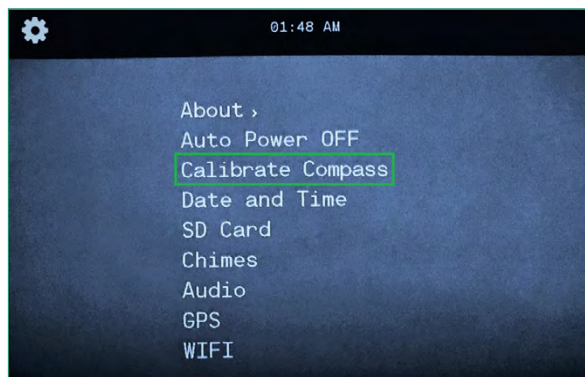


4.3 コンパス (すべてのカメラで利用できるわけではありません)

カメラには、工場で校正された電子コンパスがあります。コンパスが方向的にずれていると感じた場合は、手動で再調整できます。



- 1.設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. [コンパスの調整]に切り替えて、アニメーション化された手順にアクセスします。
3. 正しく調整した場合は、「コンパスの調整に成功しました」というメッセージが表示されます。



コンパスのキャリブレーションに失敗した場合は、退屈な音が聞こえ、「コンパスのキャリブレーションを再試行してください」というメッセージが表示されます。

第4章WIFI /設定モード

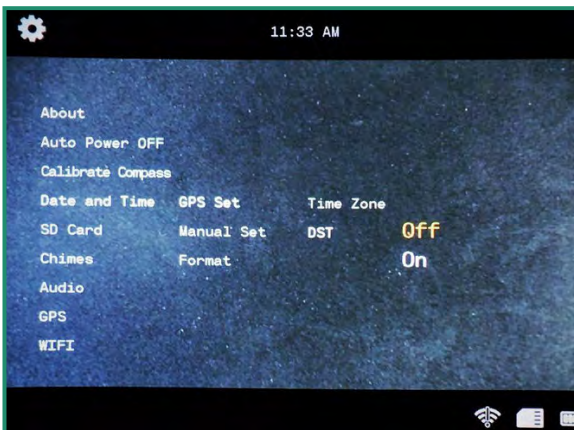
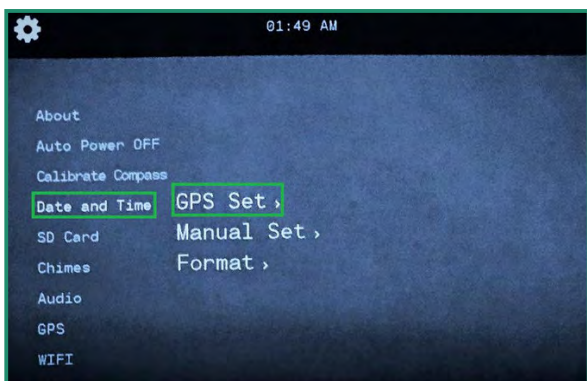
4. 4日時

日付と時刻を設定するには、「セクション1. 5日付と時刻の設定」を参照してください。GPSセッで日付と時刻を設定したりフォーマットを変更したりすることもできます。

4.4.1 GPSセッ (すべてのカメラで利用できるわけではありません)

GPSで時刻を設定することができます。

- 1.設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
- 2.日付と時刻に切り替え、GPS設定に右に切り替え、オプションにもう一度右に切り替えます。
- 3.タイムゾーンを右に切り替え、SETを押してタイムゾーンを選択します。
- 4.左を2回切り替えて、メニューを終了します。
- 5.夏時間をオンに設定する場合は、DSTに切り替え、右にオンに切り替えて、SETを押します。
- 6.左を2回切り替えて、サブメニューを終了します。



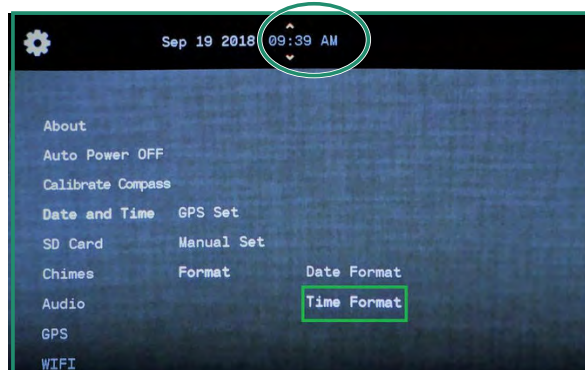
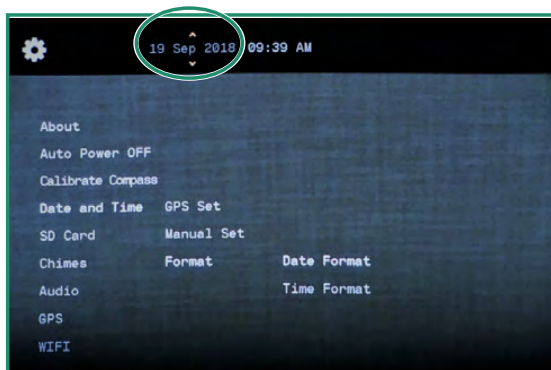
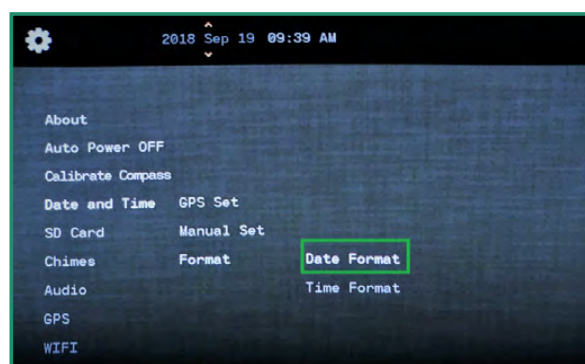
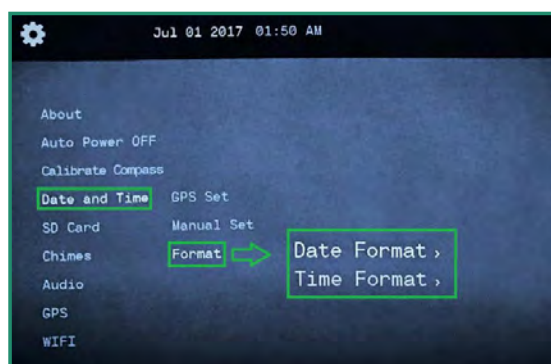
第4章WIFI /設定モード

4.4.2 フォーマット

日付と時刻の形式を変更できます。



- 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
- 日付と時刻に切り替え、右にフォーマットに切り替えます。
- もう一度右に切り替えて日付形式に切り替え、SETを押します。
- 選択可能なオプションは画面の上部にあります。デフォルトの日付形式はmonth-date-yearです。フォーマットを変更するには、上下に切り替えてフォーマットを変更します。
- [時間形式]に切り替えて、右に切り替えます。選択可能なオプションは画面の上部にあります。デフォルトの時間形式は12時間です。24時間制に変更するには、上に切り替えてSETを押します。
- 必要なオプションを選択して、SETを押します

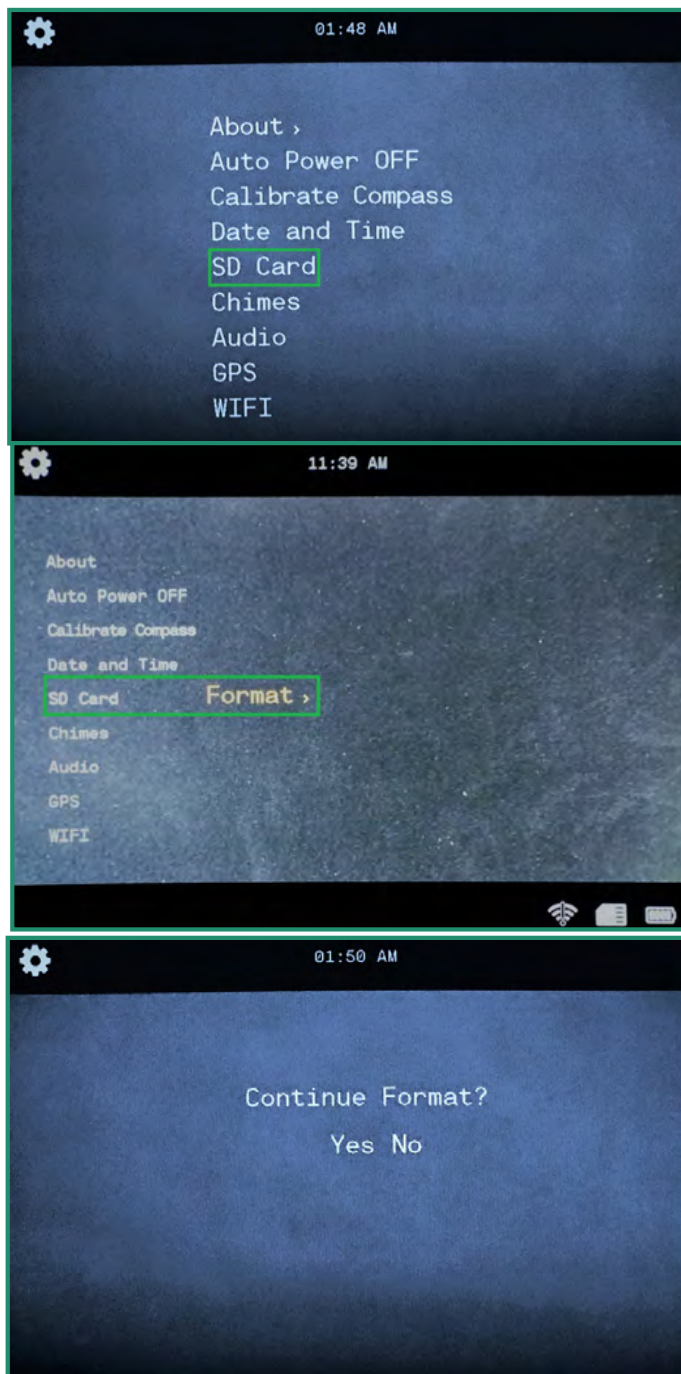


第4章WIFI /設定モード

4.5 SDカード

SDカードが破損した場合は、カメラでフォーマットできます。

- 1.設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. SDカードに切り替え、右に2回フォーマットします。
3. [はい]に切り替えて、[設定]を押します。



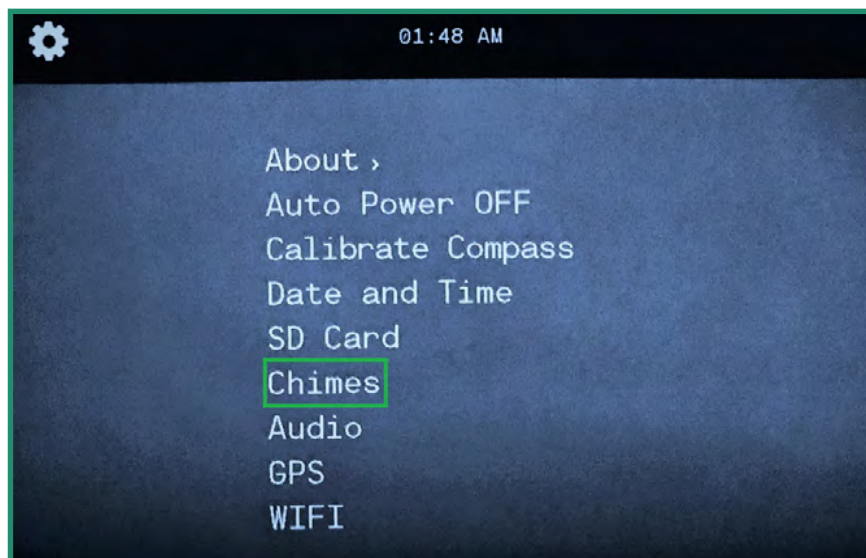
注：SDカードをフォーマットしない場合は、[いいえ]を選択して[設定]を押し、左に切り替えてメインメニューに切り替えます。

第4章WIFI /設定モード

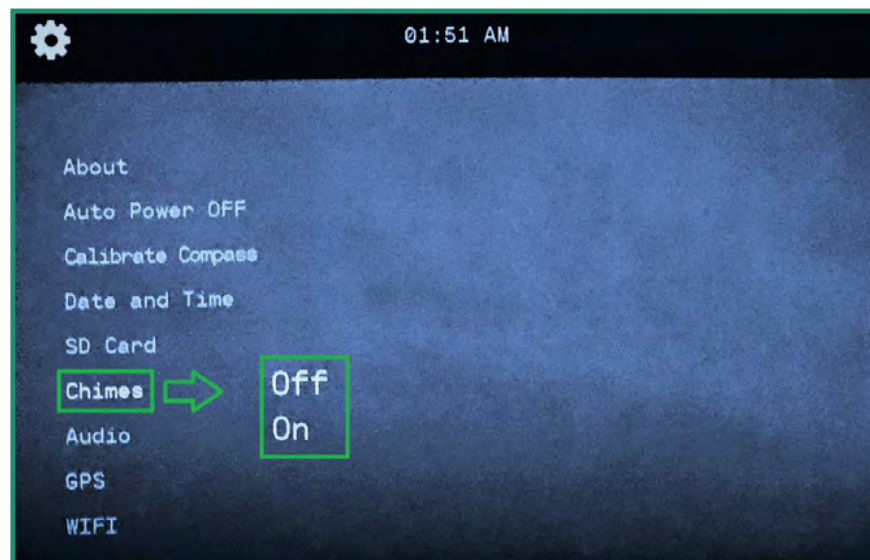
4.6チャイム

カメラは、さまざまな機能のために、またカメラのオンとオフを切り替えるときにチャイムを鳴らします。

1. 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。



2. チャイムに切り替え、右に切り替えてチャイムをオフまたはオンにします。



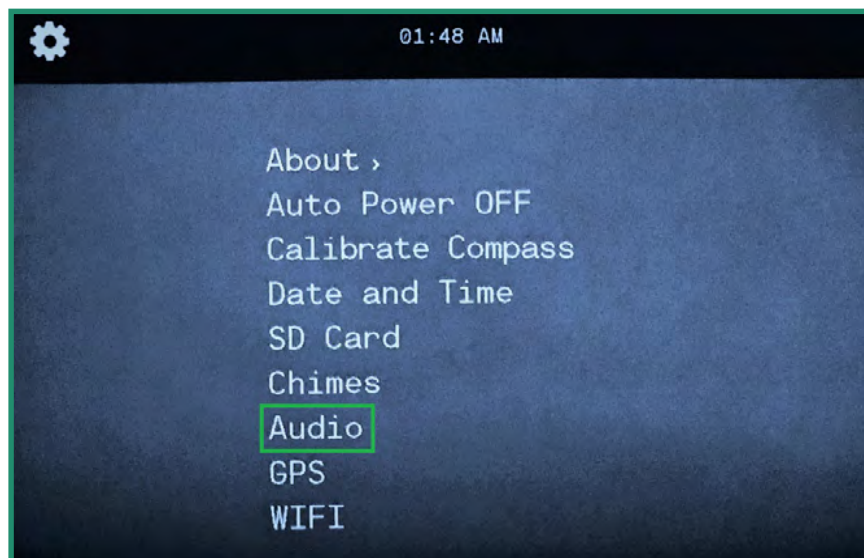
3. オフまたはオンを選択してSETを押します。

第4章WIFI /設定モード

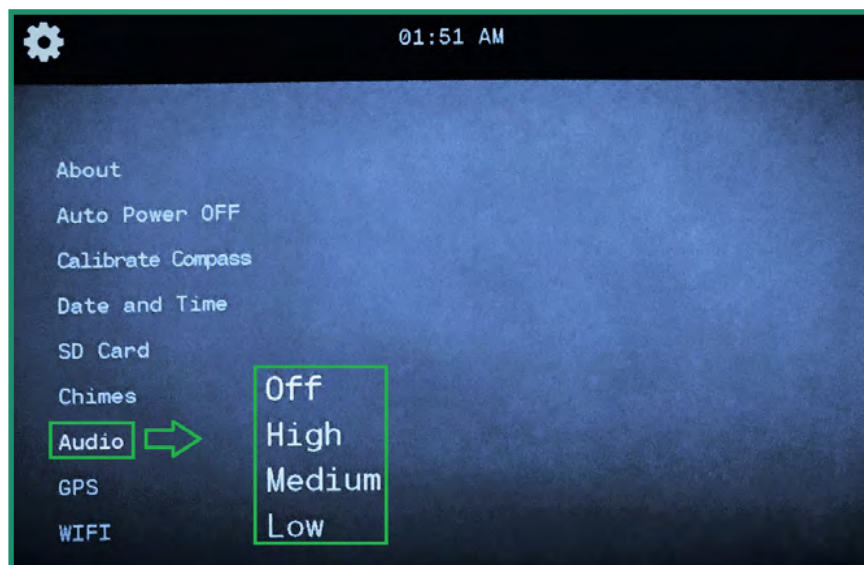
4.7 オーディオ

ビデオの再生オーディオは、オフ、高、中、または低に設定できます。

1. 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。



2. [オーディオ]に切り替え、[音量]オプションを右に切り替えます。



3. 好みの音量オプションを選択し、SETを押します。

第4章WIFI /設定モード

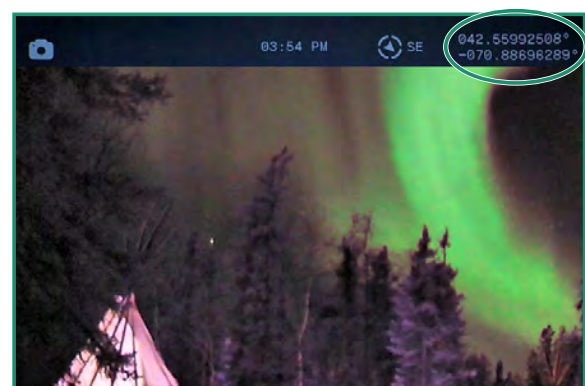
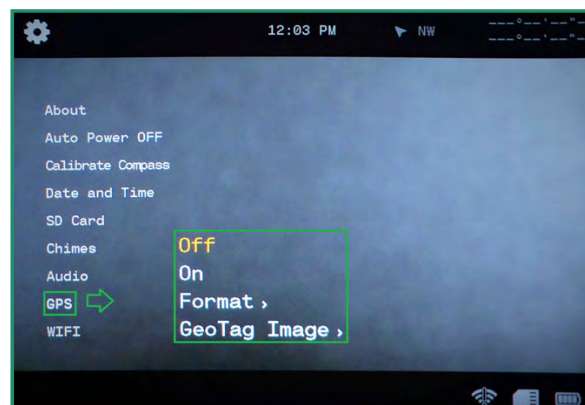
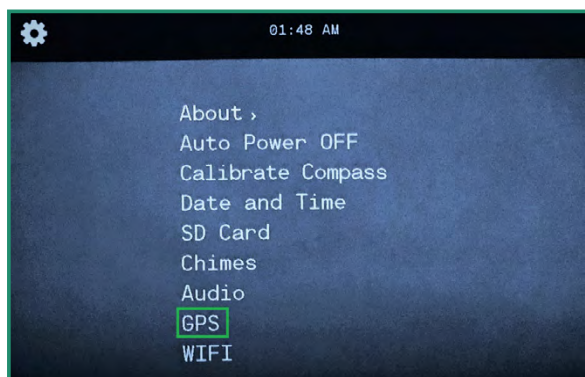
4.8 GPS（すべてのカメラで利用できるわけではありません）

カメラのGPSは、正確な経度と緯度を表示します。写真、ビデオ、またはループモードの場合、GPS座標はビューファインダーに表示されます。

4.8.1GPSをオンにする



1. 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. GPSに切り替え、GPSメニューを右に切り替えます。
3. [オン]に切り替えて、[設定]を押します。
4. カメラを写真、ビデオ、またはループモードのいずれかに切り替え、外に出て信号を受信します。
5. GPS座標はメニューの右上隅にあります。



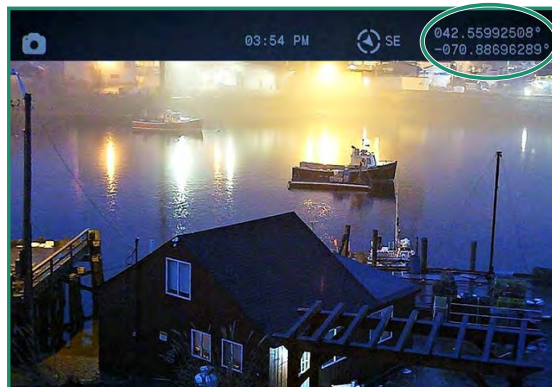
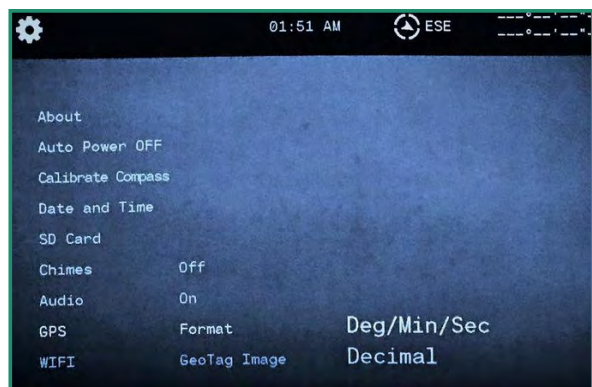
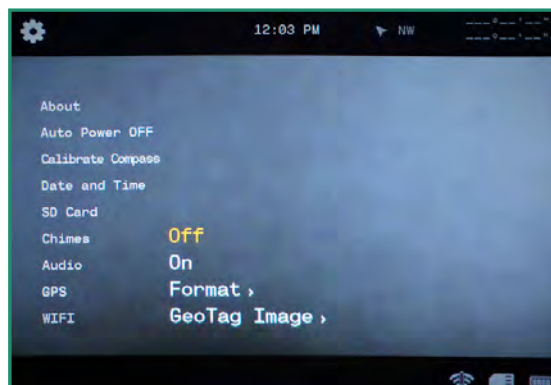
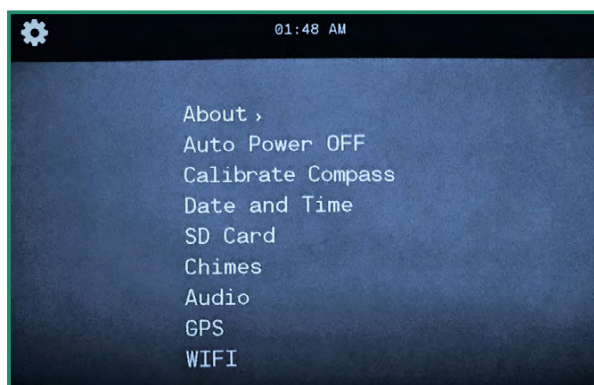
第4章WIFI /設定モード

4.8.2 GPSフォーマットの変更

GPS形式を度/分/秒から小数に変更できます。



1. 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. GPSに切り替えて、メニューを右に移動します。
3. [フォーマット]に切り替え、[フォーマット]オプションを右に切り替えます。
4. オプションを選択し、SETを押します。
5. 左に切り替えて、GPSメニューを終了します。
6. カメラを写真、ビデオ、またはループモードのいずれかに切り替え、外に出て信号を受信します。



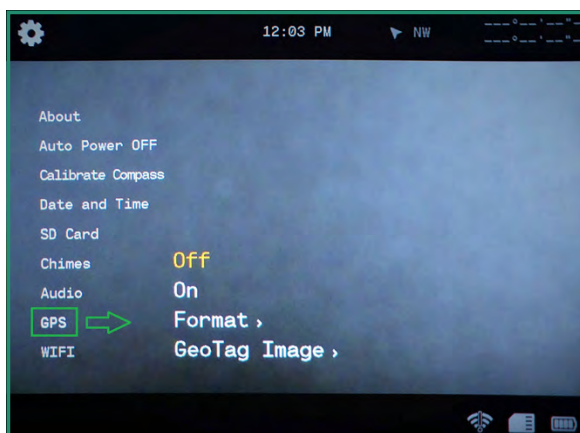
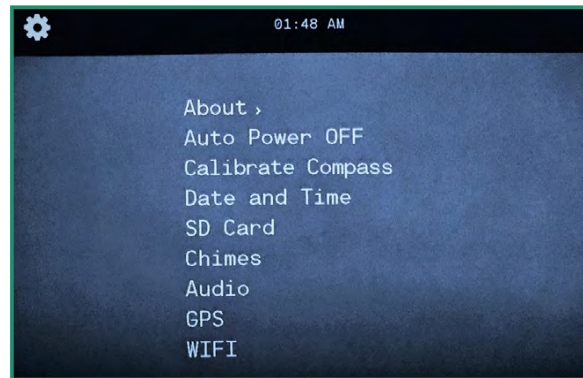
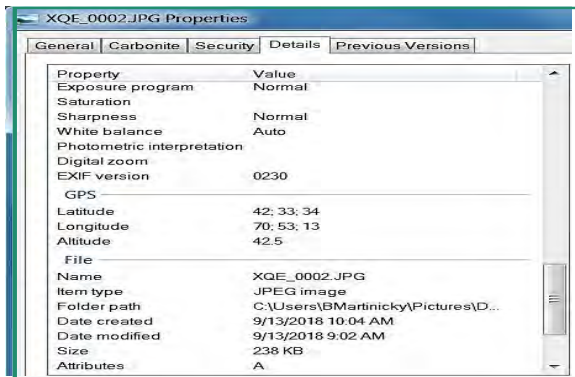
注：GPSは外にいる場合にのみ機能し、カメラが最初の位置を受信するまでに1～2分かかります。
GPSは電力を消費するため、使用しないときはバッテリーの寿命を延ばすためにオフにする必要があります。

第4章WIFI /設定モード

4.8.3 ジオタグ画像（すべてのカメラで利用できるわけではありません）

GeoTag Imageは、GPSメタデータを写真とビデオの両方に書き込みます。写真の場合、メタデータは、写真を右クリックし、プロパティを選択してから詳細を選択することにより、サードパーティのEXIFビューアおよびWindows®の一部のバージョンで表示できます。

1. 設定ダイヤルをWiFi /設定モードに回してメニューにアクセスし、カメラの電源を入れます。
2. GPSに切り替え、GPSメニューを右に切り替えます。
3. GeoTag Imageまで下に切り替え、[Off]または[On]オプションを右に切り替えます。SETを押して選択します。
4. 左に切り替えて、GPSメニューを終了します。



4.9 WIFI

WiFiの詳細については、「セクション1.6アプリのダウンロード」を参照してください。

第5章参照情報

5.1 バッテリー

5.1.1 動作温度範囲

- Auroraカメラの動作温度範囲は、相対湿度90%で14°F– 104°F (–10°C– 40°C) です。

5.1.2 バッテリー使用量を減らすためのヒント

バッテリーの電力を節約するには、次のヒントに従ってください。

- 使用しないときは、カメラの電源を切ってください。
- WiFi、GPS、EIS、オーディオ、チャイムをオフにします。
- ファインダーの明るさを下げてください。
- 自動電源オフ機能を有効にします。「セクション4.2自動電源オフ」を参照してください。

5.1.3 バッテリーの保管と取り扱い

バッテリーの保管と取り扱いに関するヒントをいくつか紹介します。

- カメラを非常に低温または非常に高温にさらさないでください。低温または高温の状態では、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
- バッテリーを熱や火から遠ざけてください。電子レンジやヘアドライヤーなどの外部熱源でカメラやバッテリーを乾かささないでください。
- バッテリーをコイン、鍵、ネックレスなどの金属物と一緒に保管しないでください。バッテリー端子が金属物に接触すると、火災の原因となることがあります。
- カメラに変更を加えないでください。許可されていない充電器を使用しないでください。これを行うと、安全性、法規制の順守、パフォーマンスが損なわれ、保証が無効になる場合があります。

△ 警告

カメラやバッテリーを落としたり、分解したり、開いたり、押しつぶしたり、曲げたり、変形させたり、穴を開けたり、細断したり、電子レンジにかけたり、焼却したり、塗装したりしないでください。カメラのバッテリー開口部に異物を入れないでください。バッテリーが合わない場合は、バッテリーの向きを確認し、バッテリーの開口部に無理に押し込まないでください。

カメラやバッテリーが損傷している場合、たとえば、ひびが入ったり、穴が開いたり、水で傷ついたりした場合は、カメラやバッテリーを使用しないでください。異常な臭い、熱、変形、変色などの異常が目立つ場合は、電池の使用を中止してください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、爆発や火災の原因となる可能性があります。

5.1.4 バッテリーの廃棄

多くの地域では、バッテリーのリサイクルを義務付ける法律が制定されています。リチウムイオン電池を安全に廃棄するには、端子を他の金属にさらされないように保護してください。リチウムイオン電池にはリサイクル可能な材料が含まれており、充電式電池リサイクル着色 (RBRC) 電池リサイクルプログラムによってリサイクルが認められています。

call2recycle.orgのcall2recycleにアクセスして、便利なりサイクル場所を見つけてください。

バッテリーは爆発する可能性がありますので、火の中に捨てないでください。

- カメラには、メーカーが推奨する交換用電池のみを使用してください。
- バッテリーを乳幼児や5歳未満の子供から遠ざけてください。
- 必ず子供を監督し、バッテリーの適切な使用と手入れについて子供に指示してください。

5.2 カメラの仕様

センサー	超低照度CMOS
夜間視力	月のないスターライト対応
画面	カラーまたはモノクロ
レンズ	16mm; f/1.4（夜）、f/2.0（トワイライト）、f/5.6（日）選択可能
ビデオ	360p/720p・.MOV
FPS	7.5, 15, 24, 30, 60
写真	.9 MP 画像
シャッタースピード	1.5秒、1秒、1/.2秒、1/4秒、1/7.5秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/120秒、1/240秒、1/480秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒
IMU	GPS、加速度計、コンパス（すべてのカメラで利用できるわけではありません）
接続性	WiFi, USB 2.0
ストレージ	Micro SD 4-32 GB（含まれていません）
ビューファインダー	マイクロOLEDディスプレイ
耐水性	耐水性IP67
リチウムイオン電池	充電式2時間連続
アプリ	iOS, Android

耐水性

オーロラは、水しぶき、耐水性、防塵性があり、IEC規格60529に基づくIP67の定格で、管理された実験室条件下でテストされています。オーロラは、3フィートで30分間耐水性があります。

オーロラが濡れている場合や最近水に浸かった場合は、カメラ本体に水が入らないように、ファインダーを取り外す前に完全に乾かしてください。

5.3 SIONYX カスタマーケア

SIONYXカスタマーケアに連絡するには、次の連絡先までご連絡ください。

<https://support.sionyx.com/support/home>

support@sionyx.com

第6章トラブルシューティング

カメラの使用中にエラーが発生した場合、ビューファインダーにメッセージが表示され、カメラの側面にある赤いLEDが点滅します。

エラー	問題	直し方
カメラの過熱	カメラの温度が104°F（40°C）に達すると、自動的にシャットダウンします。	温度が動作範囲に達すると、カメラは動作します。
<u>ローバッテリー</u>	バッテリーが十分に充電されていないため、カメラを実行できません。	バッテリーを充電。
<u>SDカードが挿入されていません</u>	SDカードが挿入されていません	SETボタンを押してメッセージを削除します。SDカードをインストールします。
書式なしSDカード	SDカードはフォーマットされていません。	SDカードをフォーマットします。
<u>SDカードエラー</u>	SDカードが認識されない場合。	SDカードが32GBを超える場合、カードは機能しません。32 GBSDカードをインストールします。（PRO = 256GB）
<u>SDカードがいっぱいです</u>	SDカードに空き容量がありません。	新しいSDカードと交換するか、現在のSDカードから画像を削除してください。
<u>日時を設定してください</u>	すぐに使用できる状態、またはファームウェアの更新後。	SETボタンを押してメッセージを削除します。日時を設定します。
WiFi接続が失われました	WiFi接続が失われたとき。	WiFiが再確立されるか、設定ダイヤルのモードが変更されるまでメッセージを表示します。
<u>WiFi接続が見つかりません</u>	WiFi接続が見つからない場合。	WiFiが確立されるか、設定ダイヤルのモードが変更されるまでメッセージを表示します。
<u>スイングレンジエラー</u>	パノラマモードがオンで、スイング方向が間違っているか、動きが速すぎる場合。	メッセージは自動的に消えます。パノラマプロセスを繰り返します。
衛星なし	オンに設定してから5分間、GPSが衛星信号を検出できない場合。	カメラは、空がはっきり見える屋外にある必要があります。
写真がない	表示する画像がない場合の再生モード。	再生モードでは、SDカードに表示する写真はありません。設定ダイヤルを別のモードに切り替えます。

第7章保証。

7.1 SIONYX Aurora 戻る / 交換 限定保証ポリシー

7.1.1 この限定保証の対象

SIONYX、LLC（「SIONYX」または「当社」）は、元のエンドユーザー購入者（「あなた」）に対して、バッテリー、ネックストラップ、エンドユーザーの購入者による最初の小売購入日から1年間（「保証期間」）、SIONYXが公開したガイドラインに従って通常使用した場合の、材料および製造上の欠陥に対する保護バッグおよびUSBケーブル。。

SIONYXが公開しているガイドラインには、技術仕様、ユーザーマニュアル、およびサービス通信に含まれる情報が含まれますが、これらに限定されません。

この限定保証は、SIONYX製品を購入した国でのみ有効であり、強制力があります。ただし、その国がAuroraカメラを販売する特定の国のリストに含まれている場合に限りです。

SIONYX製品が保証期間内に故障した場合、商業的に合理的な時間内に、以下に説明するように、無料で修理または交換します。

7.1.2 この限定保証の対象外

この限定保証は、SIONYXハードウェアと一緒にパッケージ化または販売されている場合でも、SIONYXブランド以外のハードウェア製品またはソフトウェアには適用されません。SIONYX以外のメーカー、サプライヤー、または出版社は、独自の保証を提供する場合があります。詳細については、それらに連絡してください。

SIONYXブランドの有無にかかわらずSIONYXによって配布されるソフトウェア（システムソフトウェアを含むがこれに限定されない）は、この限定保証の対象外です。ソフトウェアの使用に関するお客様の権利の詳細については、ソフトウェアに付属のライセンス契約を参照してください。

SIONYXは、SIONYX製品の操作が中断されない、またはエラーがないことを保証しません。

SIONYXは、SIONYX製品の使用に関する指示に従わなかったために生じた損害については責任を負いません。

この限定保証は適用されません。

（a）材料または製造上の欠陥が原因で故障が発生した場合を除き、時間の経過とともに減少するように設計されたバッテリーや保護コーティングなどの消耗部品。（b）外観上の損傷。これには、傷（レンズを含む）、へこみ、ポートのプラスチックの破損などが含まれますが、これらに限定されません。（c）他の製品との使用により生じた損傷。（d）引き起こされた損傷

事故、乱用、誤用、改ざん、液体（IP67認定を超える）、砂利、衝撃、火災、適切な手入れまたは保守の欠如、地震、またはその他の外的要因。（e）SIONYXの公開されたガイドラインの範囲外でSIONYX製品を操作することによって引き起こされた損傷。（f）SIONYXまたはSIONYX認定サービスプロバイダー（「SASP」）の代表者ではない者によって行われた、許可されていない部品の使用またはサービス（アップグレードおよび拡張を含む）によって引き起こされた損害。（g）SIONYXの書面による許可なしに、機能または機能を変更するように変更されたSIONYX製品。

（h）SIONYX製品の通常の摩耗またはその他の方法による通常の経年劣化によって引き起こされた欠陥。または（i）SIONYX製品からシリアル番号が削除または汚損されている場合。

第7章保証。

7.1.3 この限定保証の下でのあなたの救済は何ですか？

すべての保証請求にはRMA番号が必要です。保証請求について話し合い、RMA番号を取得するには、support@SIONYX.comにお問い合わせください。購入日、支払額、購入場所を示す領収書/購入証明書を提出する必要があります。

保証期間内にクレームを受け取り、SIONYX Auroraカスタマーケアによる電話評価に基づいてSIONYX製品が故障したことが判明した場合、当社の選択により、次のことを行います。

- カメラまたはアクセサリを修理する、または
- カメラまたはアクセサリを、新品、または新品または修理可能な中古部品から製造され、少なくとも機能的に元の製品と同等の製品と交換する。
- カメラまたはアクセサリを、元の製品と少なくとも同等またはアップグレードされた機能を備えた、新しくアップグレードされたモデルの製品と交換します。

適用法が許す限り、保証期間は、カメラまたはアクセサリのその後の交換、再販、修理、または交換によって延長または更新されたり、その他の影響を受けたりすることはありません。ただし、保証期間中に修理または交換された部品は、元の保証期間の残りの期間、または90日間（修理または交換の日から90日間のいずれか長い方）保証されます。

7.1.4 Warranty Limitations Subject to Consumer Law

法律で許可されている範囲で、この限定保証および記載されている救済は排他的であり、口頭、書面、法定、明示、または黙示を問わず、他のすべての保証、救済、および条件に代わるものであり、この限定保証。

この限定保証で規定されている場合を除き、法律で認められる最大限の範囲で、この製品の使用に起因する、または以下に起因する、直接的または間接的を問わず、結果的、偶発的、特別または懲罰的な損害または損失について、当社は責任を負いません。この限定保証の違反。

SIONYXは、法律で許可されている範囲で、商品性および特定目的への適合性の保証、および隠れたまたは潜在的な欠陥に対する保証を含むがこれらに限定されない、すべての法定および黙示の保証を否認します。そのような保証を否認できない限り、SIONYXは、そのような保証の期間と救済を、この明示的な限定保証の期間に制限し、SIONYXの選択により、上記の修理または交換サービスを提供します。

一部の州（国または州）では、黙示の保証（または条件）の存続期間の制限、または偶発的または結果的な損害の除外または制限が許可されていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

この保証はあなたに特定の法的権利を与えます、そしてあなたは州ごとに（または国や州によって）異なる他の権利を持っているかもしれません。法律で許可されている場合を除き、SIONYXは、売買契約の不適合から生じる可能性のある権利を含め、お客様が持つ可能性のあるその他の権利を除外、制限、または一時停止することはありません。

あなたの権利を完全に理解するには、あなたの国、州、または州の法律を参照する必要があります。

第7章保証。

7.1.5 返品製品

商品を受け取ってから14日以内に返品が行われた場合は、商品の返品で商品価格の払い戻しまたは交換を行うことができます。返金には、返品送料と15%の返品手数料は含まれません。SIONYXカスタマーケアによって失敗とみなされた箱から出して失敗したものを除いて、あなたは返送のためのすべての送料に対して責任があります。

すべての返品にはRMA番号が必要です。返品について話し合い、RMA番号を取得するには、support@SIONYX.comにお問い合わせください。

すべての注文は、購入日から30日以内に顧客が検査する必要があります。この期間を過ぎると、SIONYXは、輸送中に破損したアイテム、紛失したアイテム、または技術サポートに関係のないその他の問題については責任を負いません。

返品または交換された製品は、新品の新品同様の状態である必要があります。アイテムは、取扱説明書やパッキングインサートを含む、すべての部品と書類を含む、損傷のない元のメーカー製品のパッケージに含まれている必要があります。

元のメーカーの製品パッケージにステッカーや配送ラベルを貼らないでください。

代金引換は受け付けておりません。RMA番号のない出荷または製品。RMA番号なしで当社の施設に出荷された製品は廃棄されます。このプロセスに関する質問やその他の手段はありません。

交換または返品の処理には、（返品を受け取ってから）最大10営業日かかりますのでご了承ください。

RMA番号を問い合わせると、SIONYXカスタマーケアから差出人住所が提供されます。

質問？ support@SIONYX.comにお問い合わせください。

オーロラカスタマーケア-<https://support.SIONYX.com/support/home>

適合宣言の簡素化

これにより、SIONYX、LLCは、提供された機器が以下に準拠していることを宣言します。

無線機器（RE）指令（2014/53 / EU）

JSP指令2011/65 / EU

EU適合宣言の全文は、<https://support.SIONYX.com/support/solutions/articles/61000285264-where-can-i-find-your-declaration-of-conformity-for-aurora>で入手できます。